



報 窓 同 工 會

2014



校 歌

嶺は秀づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤秀霊の
精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤勞一すじに
進む健児の意気高し

峙つ嶺は峻しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

同窓会総会



関連記事

同窓会事業報告(平成25年10月～平成26年9月)

10月 3日 会計監査
 10月 7日 第14回三役会議
 10月 7日 第1回役員会
 10月18日 会工電友会総会
 10月19日 松江春次記念館落成式
 10月19日 同窓会総会
 松江春次記念館落成
 祝賀会
 10月19日 若松会工会総会
 10月27日 吹奏楽部定期演奏会
 11月 1日 2013會工同窓会報発行
 11月 6日 第1回三役会議
 11月 9日 会津美里会工会総会
 11月20日 猪苗代会工会総会
 11月21日 第2回三役会議
 11月22日 職員クラブ祝賀会
 12月 5日 第3回三役会議
 12月19日 第4回三役会議
 1月11日 第5回三役会議
 1月22日 第6回三役会議
 1月25日 第2回役員会 新年会
 2月22日 建友会総会
 2月28日 同窓会入会式
 3月 1日 会工卒業式
 3月28日 会工職員クラブ送別会
 4月 4日 会工職員クラブ歓迎会
 4月 8日 会工入学式
 4月11日 第7回三役会議



4月14日 創立記念講話
 4月16日 第8回三役会議
 4月17日 松江春次記念館建設
 実行委員会会計監査
 4月26日 松江春次記念館建設
 実行委員会(総括)
 5月24日 郡山会工会総会
 5月31日 東海会工会総会
 6月 1日 近畿会工会総会
 6月11日 第9回三役会議
 6月21日 東京会工会総会
 6月21日 会工美修会総会
 6月25日 第1回会報編集委員会
 7月 5日 機友会総会
 7月19日 セラ友会総会
 8月18日 第2回会報編集委員会
 8月28日 第10回三役会議
 9月 3日 坂下会工会総会
 9月25日 第3回会報編集委員会
 9月27日 いわき会工会総会
 9月27日 福島会工会総会



『同窓会会報発刊にあたって』

同窓会 会長 若狭 春生
 (昭38年窯業科卒)

同窓生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。一昨年は学校創立110周年を皆様方と共に祝うことが出来、大変喜ばしい事でこの歴史と伝統を末長く継続すべく同窓会も努力する所存であります。また、昨年は松江春次記念館建設に多くの同窓生の皆様にご寄付を賜り当初の計画どおり昨年の同窓会総会の日に落成・祝賀会を開催出来ましたことは本当に嬉しく心より御礼申し上げます。昭和14年、33万円のご寄付を賜り福島県の工業高校で初めての機械科が出来、多くの諸先輩が使用した実習工作機械を残すため松江春次記念館を設け、先輩の方々のメモリアルと後輩に歴史と伝統を伝え松江春次翁が残した偉業を後世まで伝えたく記念館を建設致しました。館内には松江翁に係る書画や当時のサイパンの品も展示しておりますのでぜひご覧頂きたいと思っております。

さて東日本大震災が発生してから早、3年半が経過、福島県は更に東京電力福島第一原子力発電所の事故が重なり津波では多くの尊い命が奪われ家屋や田畑も飲み込まれ、放射能の影響で自宅にも帰れず農業・漁業・林業も出来ずいまだに避難生活を強いられておられる多くの方々がおります。本当に気の毒に思います。放射能

の風評被害も米や農作物、魚介類の放射能検査後に販売しますので程々沈静化して居る様ですが、何も無かった平和な海も陸も多くの規制を受け検査までして食糧を得なければならぬ現実が今後何十年続くのか想像出来ません。

今会津若松市で放射能は0.01〜0.08ベクレルです。県内では数値は低い方ですので同窓生の皆様ご安心下さい。しかし県内紙(民報・民友)に毎日東日本大震災生活情報として放射性物質の検査結果・環境放射線測定値・観光地の放射線モニタリング結果など異様な記事が一面あり県内の皆様は放射能のことが頭から離れないのではと思っております。

さて、今年も同窓会総会が例年の如く10月の第三土曜日に開催されました。多くの同窓生が集い青春的一幕の思い出や懐かしい同級生に顔を合わせ校歌・応援歌を歌い楽しい一時を過ごしました。来年は更に多くの同窓生の皆様に参加して下さいます様お待ちしております。最後になりますが同窓生の皆様のご健勝とご多幸をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

平成26年10月

平成27年度
福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書（案）
（自 平成26年10月1日～至 平成27年9月30日）

収入総額 4,950,000円
支出総額 4,950,000円
差引残額 0円

◎収入の部 (単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)－(B) 増減	摘要
繰越金	1,329,671	1,512,710	－183,039	前年度の繰越金
入会金	2,400,000	2,400,000	0	新入生（240名×10,000円）
協力金	700,000	700,000	0	会報2014の協力金
総会費	500,000	500,000	0	総会、会費等の収入
雑収入	20,329	7,290	13,039	決算利息等
合計	4,950,000	5,120,000	－170,000	

◎支出の部 (単位：円)

費目	予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)－(B) 増減	摘要
総会費	700,000	500,000	200,000	総会関係経費
会議費	700,000	700,000	0	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	500,000	500,000	0	各支部総会時の旅費
事業費	800,000	800,000	0	広告代、各支部、松江顕彰会助成
卒業記念費	150,000	150,000	0	（校歌、応援歌、会工賛歌）CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	50,000	0	香典、弔電、花環代
消耗品費	70,000	70,000	0	事務用品、その他
印刷費	400,000	400,000	0	会報印刷代（6000部）
通信費	150,000	150,000	0	切手代、電話代
事務費	100,000	100,000	0	コピーカウンター料、他
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,130,000	1,500,000	－370,000	
合計	4,950,000	5,120,000	－170,000	

付帯決議 科目間の流用については会長に一任する。

各支部への助成		日 立	
		郡 山	会津美里
		猪苗代	建友会
		坂 下	会工電友会
		いわき	機友会
		西 会津	セラ友会
		湯 川	会工美修会
東京	10万		
近畿	5万		
東海	5万		
若松	5万		
福島	3万		

平成26年度
福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書
（自 平成25年10月1日～平成26年9月30日）

収入総額 4,955,240円
支出総額 3,625,569円
差引残額 1,329,671円

◎収入の部 (単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘要
繰越金	1,512,710	1,512,710	0	前年度の繰越金
入会金	2,400,000	2,410,000	10,000	新入生（241名×10,000円）
協力金	700,000	595,355	－104,645	会報2013協力金（789件分） 会報発送手数料880,000円、事務手数料66,150円を除く
総会費	500,000	412,000	－88,000	会費・御祝儀
雑収入	7,290	25,175	17,885	百年史、決算利息
合計	5,120,000	4,955,240	－164,760	

◎支出の部 (単位：円)

費目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘要
総会費	500,000	725,545	225,545	総会関係経費
会議費	700,000	669,928	－30,072	各支部総会時の御祝儀、役員会
旅費	500,000	509,060	9,060	各支部総会時の旅費
事業費	800,000	807,949	7,949	広告代、各支部助成、松江顕彰会助成
卒業記念費	150,000	150,800	800	（校歌、応援歌、会工賛歌）CD代
体育文化振興会助成	100,000	100,000	0	体育文化振興会助成
慶弔費	50,000	0	－50,000	香典、弔電、花環代
消耗品費	70,000	7,033	－62,967	プリンタラベル、他
印刷費	400,000	357,284	－42,716	会報印刷代（7000部）
通信費	150,000	154,793	4,793	はがき代、電話代
事務費	100,000	43,177	－56,823	コピーカウンター料、再リース料
基金・積立	100,000	100,000	0	定期預金
予備費	1,500,000	0	－1,500,000	
合計	5,120,000	3,625,569	－1,494,431	

※収入総額4,955,240円－支出総額3,625,567円＝差引残額1,329,671円は次年度に繰越し致します。

監査報告について		平成26年10月18日
平成26年10月3日 歳入簿・現金出納簿・預金 通帳および支出調書等関係書類を調査照合の 結果、適正に執行されている事を認めました ので報告いたします。		監事 西村 一夫 監事 坂 舟 成男 監事 関 場 一宏
福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 若狭 春生 殿		

記念講演



演 題 「昔話からの伝言」
口演者 奥会津の語り部
五十嵐 七重 さん
(1946年2月27日金山町沼沢生まれ)
〈現住所〉
福島県大沼郡三島町大字西方字巢
郷4447

懇親会



余興(剣舞)
浅沼 定雄 参与
(東海会工会会長・昭33K卒)



学校長あいさつ



PTA会長あいさつ



感謝状贈呈



東海会工会前会長 笠間 忠英 様
会工電友会前会長 棚木 武夫 様

松江春次顕彰会会長に横山嘉夫氏就任



(昭26M卒)





百十周年・記念館建設に感謝して

校長 二瓶 益幸

会工同窓会会員の皆様には、常日頃から会運営に御尽力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。また、一昨年の創立百十周年記念式典、及び昨年の松江春次記念館建設に際しては多大なる御協力・御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

松江春次記念館は昨年四月二六日に「松江春次記念館建設実行委員会」を設立し、八月に工事を開始し、十月十五日に鶴翔会館の南側に完成致しました。旧旋盤三台が保存されており、母校にお立ち寄りの際には是非ご覧下さい。

松江春次のお孫さんがお二人、本校を訪問されました。一人は松宮伊佐子様（六九歳、東京在住）で、夫の克昌様（七十歳）と一緒に、五月十九日、初めて会津及び本校を訪問され、記念館を見学、春次氏の像や伊佐子様の父、一郎氏に宛てた書、ゆかりの旧旋盤等を見学されました。伊佐子様は、「祖父は志ある人の育成に力を入れた。会津の皆様が祖父を思う気持ち、が伝わり幸せです。」と感想を話されました。もう一人は、春次氏の次女ゆり子様の長男・佐伯圭一郎様で、九月四日に来校され、「シュガーキング」と、その時代の南洋」と題して、松江春次没後六十周年記念写真絵画展を、会津稽古堂で開催する旨のお話のあと、記念館を見学されました。

五月三十一日、東海会工総会、翌六月一日、近畿会工総会に、それぞれ会長さんと参加しました。両会共、二十数名



5月19日 子孫松宮伊佐子様ご夫婦

の会員の方々が集い、校歌斉唱、会長挨拶、両会の活動・会計報告及び計画案が提出され、我々の方からは、母校及び同窓会本部の近況報告等をし、懇親会は盛り上がりしました。故郷、会津を離れて数十年、身一つから会工魂で生き抜いて来られた先輩同窓生諸氏にはただ頭の下がる思いでした。只一つ気になることは、両会に限らず、御出席会員の高齢化が進み、中堅・若年者の出席率が極めて低いことです。折角、会工同窓会は、全国各地に科や地域毎の支部支会を設けて、充実した組織として存在している訳ですから、特に若い同窓生の皆さんの積極的な御参加をお願いし、会工OB、OGとして相互の親睦・絆を深めていただくことをご祈念申し上げます。

最後に、歴史と伝統と実績を誇る「会工同窓会」会員の皆様には、常に母校を愛するお気持ちを強く感じ、心強く思っております。今後とも母校並びに後輩のために、ご指導・御支援・御協力の程を宜しくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



昭和 35 年の校舎



現在の校舎

百周年記念事業で

《会工100年史補完版》
会工同窓会の歴史のうち 7 会工同窓会本拠地 会津若松市に定着
(昭和55年〜平成14年) 期の15代会長について

第15代同窓会会長 吉田 一榮氏

梨子本 傑

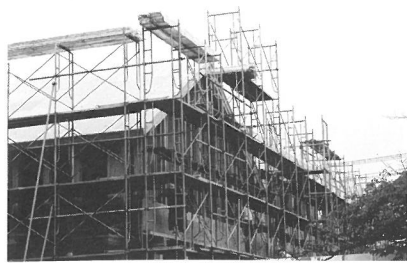
開学から112年目を迎えた会工の卒業生数は、平成26年3月で28300名以上を数える。これまで会工教育の根つことも言うべき幾多の先陣たちによって、会工は大きく育てられてきた。その先人の中から第15代同窓会会長・吉田一榮会長を取り上げてみたい。

吉田会長は本校窯業科を昭和20年に卒業。その後東京工業大学に進み、会工で教鞭を執るなど異色の経歴をもっている。自ら工場を経営する傍ら、50年以上の永きにわたり本校教育の発展に多大な貢献をなされている。明るく大らかで誠実な人柄から人望も厚く、昭和48年から本校PTA会長を7年間、その後翌年の昭和55年4月には全国理事会により第15代同窓会長に選任されました。平成15年10月に退任までの25年間、会長職を努め母校発展に多大な貢献をされました。この間、松江春次奨学会理事長、のちの松江春次顕彰会初代会長としても歴任されました。現在は同窓会顧問、セラ友会名誉顧問の要職に在ります。

東京中心であった会工同窓会を会津若松に本部をおく組織にしたのも吉田会長の働きが大であったと聞いている。「経済的な援助はするが細かい注文はつけない、会議には皆勤する」ことが吉田氏のモットーで、利他の心で物事を考えるという人徳から多くの事業を成功させてきた。その実績が認められ、平成13年に国から叙勲されました。

本校の創立記念事業では、60周年にはプール建設、70周年には南体育館建設要望、80周年には会工会館（柔剣道場）建設・前庭ロビー・整備と校歌碑建立・情報教育設備（パソコン）整備・松江奨学会の復活、90周年にはトレーニングセンター建設・所蔵作品図録刊行・染色型紙図録刊行・同窓会会員名簿の発行、そして大行状である100周年には同窓会館「鶴翔会館」建設・学校沿革史「会工百年史」の編纂・記念歌「会工賛歌」の制作発表など、功績を挙げると枚挙に暇がない。吉田会長の本校への思い入れは計り知れないほどの深さがある。それは後輩である本校生が、会工の誇りと自信をもって卒業し、会津はもとより全国で活躍できる人材になっほしいという郷土愛と母校愛の発露である。

これらの功績に対し平成15年3月に吉田会長の後輩にあたる郡山在住・鈴木寛長氏（昭和33年窯業科卒）が陶製の胸像を寄贈された。更に平成18年10月には当時の学校長・熊田良治校長、第16代同窓会長梅津正夫会長時代に胸像建立実行委員会により計画され、原型製作者若杉儀子氏・会津彫塑会会長、鋳造製作者南康弘氏、台座岩澤伸夫氏、題字長谷川義雄氏らの力により創られ盛大に執りおこなった。設置場所と同窓会館の前庭北側に校舎正面に向かって建立された。



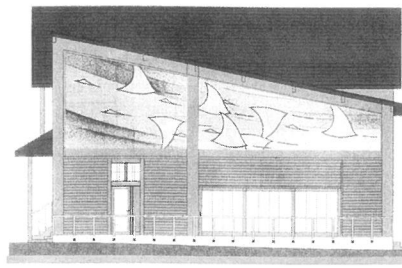
同窓会館建設中



同窓会館



同窓会館テープカット



モニュメント

がPTA会長としておりましたが、昭和47年に辞任され、後任に鳥見武夫氏が就任されました。その後をうけて昭和48年にPTA会長に就任しました。

昭和54年10月になって会津会工（若松会工と会津支部の会工、坂下・猪苗代・湯川・西会津会工）としてまとまり、創立80周年事業をふまえての会長就任となった。翌年の昭和55年2月に東京会工の井上会長辞任に伴い、佐藤勝次同窓会長より同窓会会長としての就任依頼があり、4月に同窓会会長になった。この時の学校長は小森五良先生で、創立60周年時にもいろいろご指導・ご助言をいただき心強い言葉などをいただいた先生でした。

就任して間もなく昭和55年10月に創立80周年・本郷分校30周年の実行委員会を発足。教職員と同窓生が合同で協力しながら成功させようと立ち上げた。佐藤勝次・前同窓会会長から最初に多額の寄付をいただき、また、励ましのお言葉もいただき一番最初の寄付でした。また、同時に理事長であった窯業科の大先輩・新田義一氏には、各職域、各地域などの総会に同伴してご指導いただき実行委員長として記念事業をやり遂げる事ができました。新田義一氏のおかげです。主な記念事業としては柔道場を造るための会館建設で募金活動をおこなった。この敷地は県工芸試験場の跡地（普通財産）で出先機関が違っているので、学校の教育財産に移管するために井上四郎PTA会長、高瀬喜佐衛門氏、小森先生の力添え等により建設することができました。その会館の名称は「会工会館」とし、竣工・鏡開きを盛大に行われました。もう一つの事業として松江奨学会への助成で「松江賞」の記念品代としての補助です。同時に電子科にはコンピュータの設備はあったが、ほかの科の生徒たちは工業の生徒でありながらコンピュータも触れないで卒業してしまう。同窓会としての資金より補助。同窓会の剰余金を有効に活用

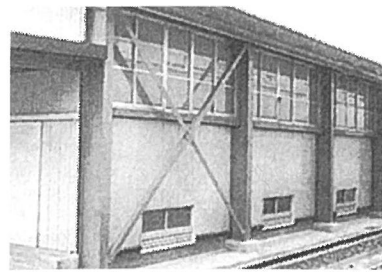
させていただきました。

平成4年には創立90周年の年になるとして、平成2年に小森先生は記念式典・記念事業実行委員会を立ち上げ、トレーニングセンターの建物と備品（器具等）をメインの事業とした。募金活動時には平成になったばかりでバブルが過ぎ去った時でしたが、目標額4500万円に対して多額の申込みの寄付があり、特に東京会工の先輩たちの中には鈴木正夫氏（昭和8年窯業科卒）には多額の寄付をいただきました。当時福島県の泉崎村・住宅団地に会社をつくるので後輩たちをお願いしたいとの関係もあり、そのことも踏まえ思いがけない多額の寄付をいただきました。目標額に対して1000万円以上のお金を残しその残金を創立100周年の準備に充てることができました。

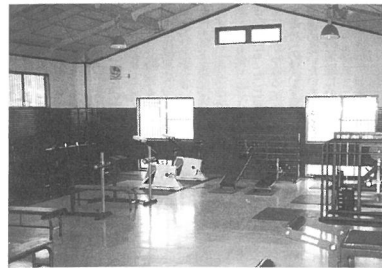
創立100周年に向けて平成8年頃から準備に入り、その当時若松会工は活発になっていく時期でもあったので中心となり、平成10年に正式に実行委員会を立ち上げそれぞれの事業案を出され募金活動がなされたが、ちょうどこの頃は世の中の経済情勢がきびしくなり、特に企業からの寄付状況が厳しくなり思うような募金があつまらなかったもので、何回も何回もお願いしに行き何とか目標額に近い寄付金を集めることが出来ました。

百周年のメインである同窓会館（敷地は松江講堂跡地で現在の鶴翔会館である）建設である。建設にあたっては、業者（同窓生）さんの力強い割安にしてみました。他の事業に回すことが出来た。特に記念式典の際には先輩諸兄のみなさんや来賓の方々より立派にできたお褒めのことをいただいていた安堵したことを思いだされる。

母校にかかわって50余年、一番思い出に残る事は、母校創立80周年を迎える二年前にPTA会長を退任して、会工同窓会会長・佐藤勝次会長の後を継ぎ、会長



昭和51年12月に完成した格技場



トレーニングセンター



吉田一榮氏全国同窓会会長就任祝賀会

平成17年10月15日
会工同窓会定例総会時の講演内容

演題「前同窓会会長吉田一榮の

同窓会とのかかわり」

吉田一榮氏の講演内容（ご本人の発言より）

長い間同窓会会長を勤められたのは運がよかった。非常に恵まれておる。私も会津工高校に入って同窓生であつたので多くの先輩・同窓生たちによって助けていただいた。

昭和20年窯業科を卒業。当時、恩師高畑先生に分析化学などの専門を教えたとき化学の面白さを知りました。同窓会とのかかわりをはじめた時、ちょうど恩師の高畑先生が同窓会事務局をなされていたので、同窓会についての現状をその時知りました。若松地区の部分は、昭和28年には会として存在していた資料を見せて頂きました。内容については、当時の同窓会会長は東京会工会長が兼務されていた。

当時は地区・地域会工のそれぞれが独立して会を運営していた。そして、それぞれの会長が集まって同窓会協議会として運営していた。その昭和39年鉄筋の校舎改築工事が始まり、木造の平屋建ては貴重室で赤いジュタンが敷いてあり、徳富蘇峰が正時代お見えになった。由緒ある建物であった。

昭和16年頃から木造校舎を改築、昭和39年頃鉄筋の校舎改築、そして創立60周年記念の年であった。その式典に同窓会会長は東京会工の佐藤勝次会長（大正8年窯業科卒）はじめ同窓会議長・新田義一氏（大正8年窯業科卒）が式典に臨んだ。さらに、この時、水泳部の練習は喜多方高校へ通っていて不便をきたしていたのでプール建設がなされた。ちょうど、この時恩師の高畑先生は同窓会の事務局長でしたので、市内の

学校のプールの図面を持っていたので参考にしてもらいました。その建設にあたっては山添先生が顧問であつたので部員・生徒たちは土曜日、日曜日、夏休みに手伝いをして、9月には完成された。建設場所は当時機械科の北側に鍛造実習室の手前のそばに池があり、その池を利用しながら建設をおこなった。現在の北体育館建設が出来上がり創立60周年記念事業が執り行われた。一連の校舎改築の陣頭指揮をとっていたのは当時・教頭であった小森五良先生でのちの第14代学校長になられた方です。そして新しい体育館（現在の北体育館建設）が出来上がり創立60周年記念事業が盛大に執り行われた。この時に同窓会にかかわった事が最初であった。

その後、若松会工が活発となり、昭和43年5月の同窓会で大竹巖氏（昭和7年窯業科卒）が会長で、副会長は教職の立場である山添茂氏・古川章氏・渡部正男氏・大塚三次氏がなり、その中で理事として何人かが役員がなっており、私はその一人としておりました。丁度この頃、昭和45年には長男（栄一郎氏・昭和48年化学工学科卒）が入学させていただきました。その時の校長は菊地巖先生でした。この時にPTAの副会長に依頼されました。昭和46年には創立70周年記念事業の準備にかかりました。募金は若松会工が中心となり大竹巖会長名で募金に関する趣意書を開始した。この時は同窓会長名ではなかった。あくまでも若松会工・大竹巖会長であった。同窓会名簿を作成して創立80周年事業の下準備として取り掛かり募金を開始した。その募金は創立70周年の事業として、残金は創立80周年の準備として基金とした。第二体育館建設要望があつた頃です。

PTAの副会長として就任した時は、先代の鈴木善九郎氏（昭和19年に運動場の新設等に献身的に援助された方で後援会長からPTA会長になられた方である。）



吉田一榮氏の 母校での歩みと功績抄

母校に関する役職 ● 同窓会元会長・現顧問／
セウ友会名誉顧問／松江奨学会理事長／
前松江春次顕彰会理事長／元 PTA 会長

昭和2年12月10日生
会津若松市

学 歴

昭和20年3月 会工窯業科卒業（5年制）。
柔道部でご活躍される。
東京工業大学付属工業専門部に進
学される。

教職活動

昭和28年4月 母校の窯業科で教鞭をお執りにな
～30年3月 る。「科史」では、当時を躍進時
代と位置付けるほど窯業教育の発
展に寄与され、工場経営に専心な
るため教職を辞される。

PTA活動

昭和48年 会工PTA会長に選任される。
昭和50年 体育文化振興会を設立。
昭和51年 総会に講演会を導入。
PTA研修会をはじめる。
昭和52年 学年PTAにも講演会導入。
昭和55年 会工PTAを辞任。

同窓会活動

昭和54年 会津会工総会で会長に選任され
る。（10月28日）
昭和55年 全国理事会により会工同窓会会長
に選任される。（4月22日）
昭和57年 母校の創立80周年記念事業。
実行委員長をつとめ多額の寄付。
11月2日、記念式典。
会工会館（柔剣道場）の竣工。
校歌碑除幕。
昭和58年 松江奨学金の増額。「松江賞」授与。
平成元年12月 松江奨学金へ100万円寄贈。
平成2年 母校の創立90周年記念事業はじ
まる。実行委員長をつとめ多額の
寄付。
平成3年 同窓会会員名簿刊行。
平成4年 会工トレーニングセンター竣工。
資料会館を整備・修復。
同窓生の美術展を開催。
記念誌『時代への挑戦—時代から
の挑戦』を刊行。
11月6日 創立90周年記念式典。

同窓会活動

平成6年 図録『所蔵作品』等を出版。
松江講堂の取り壊しと新体育館の
建設。
平成7年 同窓会会員名簿刊行。
平成11年 母校の創立100周年記念事業は
じまる。
実行委員長をつとめ多額の寄付。
平成12年 セウ友会名誉顧問。
平成14年 記念講演会。
同窓会会員名簿を刊行。
同窓会館「鶴翔会館」竣工。
同上外壁にモニュメント作成。
同窓生の美術展を開催。
「鶴翔会館」の門扉・駐車場竣工。
門扉及び敷石寄贈。
10月26日、創立100周年記念
式典。
平成15年 会工同窓会会長を辞し顧問に就
任、会工同窓会の発展を梅津正夫
氏に託される。（10月18日）
平成16年 記念事業沿革誌『会工百年史』を
刊行。
平成17年 松江奨学会、サイパンより短期研
修生を受け入れ。
平成18年 松江奨学会理事長として「松江賞」
を復活される。
平成20年 同窓会賞の新設。
平成23年 松江春次顕彰会設立
初代理事長に就任。
平成26年 松江春次顕彰会会長退任。



創立100周年記念式典



『会工百年史』出版記念祝賀会



『会工百年史』出版記念祝賀会



松江賞



平成19年度 定例総会

先輩より後輩へと伝
統と歴史、良き校風を
引き継いで行き、人と
人との繋がりを大切に
して行なって下さい。母
校の発展と同窓会活動
の発展をご期待申し上
げます。

と実行委員長に就任した事です。記念事業実行の大き
な責務を、若輩の身で果たすことの出来たのは、当時
の小森学校長をはじめ諸先生、先輩同級生後輩、関係
企業の皆様のご協力ご支援の賜でありました。ここ
に深く感謝御礼申し上げます。
更に又、新田義一大先輩なくして出来得ぬことであ
りました。本当に陰に陽に、応援手引を頂いたおかげ
であります。その後昭和45年学校PTA副会長とし
て、故鈴木善九郎会長を補佐、若松会工会長大竹巖
先輩の補佐を務めました。創立70周年記念事業後には
本部同窓会事務局を母校事務局へ移管する提案の実現
にも新田先輩の大きな力を頂きました。
更に、80周年記念事業実行の推進については、新田
先輩の元勤務先でありました日立製作所関東地区の各
工場を会工総会時に同伴の上紹介して頂き、東京・東
海・近畿各々の会工会の事業推進についての懇願を頂
くなど語りつくせぬ高恩が一杯であります。唯々感謝
申し上げるものです。ご高恩に報いることが出来ませ
んでしたが、個人的に親しくさせて頂きまして、昭和
58年8月21日新田義一先輩の葬儀委員長を務めさせて
頂くことが出来ましたことがせめてものお手伝いの一
つでありました。



除幕式



除幕式

東京会工会 同窓会への思い

会計幹事 鈴木 邦男
(昭和40M卒)



大先輩が訪ねて来られ宗教勧誘(悪い事例) 東海会工会総会への案内を頂き、同窓会総会とはどのようなものか興味を持ち参加してみた事です。

入社と共に、君が名門「会津工」出身かと同僚先輩に言われたが、名門とは知らなかった。偶々、工場の営業配属(技術、製造部門への命令指揮権を持ち、対外的には工場窓口)と成り数か月経つと、職工制度「ホワイ・ブルーカラーの相違」同じ高校卒でも、名門校卒は職員、名もない高校卒は工員と区別に驚き、大卒がゴロゴロ・中でも国立旧1期校卒の引立てが早い学歴社会を目のあたりにして、入社2・3年頃には、このまま大企業8万人の一人が良いのか?

母校機械科の佐藤頭二科長は折に触れ「フロンティアスピリット」、坂内磐雄科長は「鶏口と成るも牛後と成るなかれ」と話されていた事と対比し種々思い悩みました。

文武両道

多くの人々に会って生の知識・知恵を学べ、仕事を創造する(実際は商品開発・販売・商社へ転職・東京転勤、最終は子供の頃から夢・自営(駆動制御システムコーディネーター)で終了。多くの事を学び実践出来た事は、名門・会津工卒と自負・感謝しています。

東京会工会・赤津幹事長時代に、電話で総会の様子を伺い「クラス会併催の雰囲気」との事で参加したのが、会員・役員へのスタートでした。以来、クラスメート他へ各種行事参加・勧誘をしている処です。

今年の総会は、6月21日・上野精養軒に母校、同窓会本部、近畿・東海・郡山の各会工会来賓および多数の会員出席の基に、昨年からのプチ同級会(東京会工会会員以外は同伴者扱い、懇親会費を安くしています)も併催して行われ、母校及び同窓会近況報告ご挨拶を頂き、母校・故郷の話題に花咲かせ、自慢の歌にコンパニオンとのダンス等親和やかに懇親を深めた総会・懇親会でした。

東京会工会100周年記念事業の平成22年校植樹記念式典より会計を担当させて頂いており

若松会工会 『施設見学会』を開催

幹事長 浅田 誠
(昭43E卒)

近年の取り組みで、主要行事となっている当「施設見学会」も、参加者が少ないために、候補地を遠くまで広げることが出来ず、地元地区での新たな発見を視野に入れながら取り組んできたのが、これまでの現状でありました。

この様な中で昨年は、会工電



2014/08/21

友会」と合同で開催し、奏功することができたことから、本年もまた同様な取り組みで、昨年と同人数の24名の参加者をもって、8月21日(木)の早朝7時30分に本市を出発し、午後6時までのスケジュールで、いわき市佐糠町にある「常磐共同火力(株)・勿来発電所」を訪問し、「従来型石炭火力発電」と最新の「IGCC(石炭ガス化複合発電)」について視察研修をしてきました。

加えて、昼食懇親会の席には昨年9月29日(日)に設立された「いわき会工会」から大川原昌之会長様、佐野容昭副会長様、梅宮昭幹幹事長様の三役にもご出席を頂戴し、密度濃い・有意義

REPORT & MESSAGE

東海会工会 総会にて旧友と逢う



会長 浅沼 定雄
(昭33K卒)
平成26年5月31日(土)、東海会工会定

例総会に於て席上笠間前会長よりバトンを引き継ぎ、第九代目会長に就任しました浅沼定雄でございます。総会は名古屋駅前の四川菜園(中国料理店)にて開催しました。御来賓には同窓会本部より若狭会長、藤田筆頭副会長、木村幹事長、本校より二瓶校長、東京会工会より五十嵐常任幹事、近畿会工会信野常任理事の出席を頂き開催しました。御来賓の方々からはそれぞれにご挨拶をいただきました。本部若狭会長からは同窓会の動向や松江春秋記念館建設へのお礼の言葉がありました。二瓶校長からは卒業生100%進路決定と、今夏の高校野球は楽しみにして下さいとの言葉があり会場から思わず拍手が出て盛り上がり上った。東京会工会からは「東京会工会だより」が配布され、内容の一部に御来賓の五十

嵐清夫常任理事が活躍している東京会工会ゴルフ大会で優勝した喜びの音が記載されており、私も嬉しくなって一気に読ませせていただいた。嬉しさの訳は、彼とは同級生33K卒であり高校3年間、文武両道の「文」で剣舞の白虎隊と一緒にやって来た仲だからです。指導者は渡部康雄先生でした。当時飯盛山で白虎隊の演舞を許されていたのは会津高と我が会津工高だけであつた。渡部先生に引率され飯盛山の墓前にて何度一緒に演舞をした事が今尚甦つて来ます。彼は頭も良く生徒会長にも就きました。私は「武」の方では春夏秋は陸上競技に、冬はスキー競技のクロスカントリイに没頭していた私が2年生の時、当時の「鶴賞」を受賞しクラス担任だった鈴木甲意先生や、クラスメートが喜んでくれた事も思い出されます。そんな彼と卒業以来50年ぶりにこの東海会工会総会に、東京会工会を代表して出席するとの知らせが有ったのは平成20年だった。早速「白虎隊」の剣舞をやる事に決め、彼が吟じ私が演舞する事を約束し現在に至っております。しかし今年の会場は演舞するスペースも無

近畿会工会 雑感

会長 大竹 文夫
(昭31C卒)

く彼には非常に悪い事をしたと思っている。来年は2人で演舞出来るような会場を見つけ彼との約束を果たしたい。



2014/08/21

また、「従来型石炭火力発電」では、多量の石炭灰が発生しますが、「IGCC」ではガラス

以上の「施設見学会」を踏まえ、参加者からは「見ええがあつた、種々勉強の一時にもなった、次回は何が見られるのか楽しみだ」等の声を聞かせて頂き、企画・運営の労も報われた思いであり、一緒に行動して頂いた「会工電友会」の同級生に感謝を申し上げて報告いたします。

質実剛健

は、会員十六名、総会出席者十名と激減してしまいました。以前から役員会の中でいろいろと対策は練って来たのですが高齢化の波には手の打ちようがなく現状に至っています。最近身近な会員同士で密な連携を取りあって近畿会工会の灯を消さない様頑張っていると思っております。「光陰矢の如し」と申しますが年月の経つのは早いものです。つい先日と想っていた七十歳「古希」の祝でしたが、今年七十七歳「喜寿」を迎えてしまいました。この七年間の自分を振り返って見ますと、悲喜こももな出来事がありました。苦にはアメリカ発のリーマンショックとサブプライム問題による経営の危機。身体には「大腸癌」「肝臓癌」の病がありましたがどちらも最新医療での外科手術なしでの完治。一方喜びは母校「創立百十周年記念式典」への参加と在校生への記念講話。そうして同窓会長若狭さんへの「勲章受賞」とお祝への出席又この度の松江春次翁の「記念館創設」の祝等の行事に出席出来ました。この様な悲喜こもももの全てを歓喜出来たことはこれからの人生に増々の勇気を与えてくれるものと信じ、いつまでも元気で同窓会の皆さんとお会い出来ることを楽しみに長生きしたいと思っております。

郡山会工会 近況

幹事 渡辺 寛二
(昭38 K卒)

郡山会工会幹事の渡辺です。郡山会工会の近況を報告致します。会員数は、現在56名です。平成23年までは76名でしたが、その後7名の方が死去され、13名の方が退会され、一気に56名まで減少してしまいました。新規入会者も無く苦慮しております。会費足以降ずつと副会長の任を全うして来られた安田久夫氏(18年M卒)が、この5月入院され副会長を退任されました。長年の功績に感謝すると共に、早く元気に回復される事を会員一同願っております。後任の副会長に、福地勝昭氏(30 M卒)が監事兼務の形で就任しました。又、天井清幹事(26 C卒)、斎藤宣雄幹事(32 C卒)も役員を退任されました。ご苦勞様でした。会恒例の



ボーリング大会も6月に実施しております。

私は、平成20年に26年住んだ横浜から郡山に戻り、平凡な日々を送っております。体は特に悪い所も無く元気なのですが、これと打ち込める趣味もありません。唯一、ウォーキングだけはずっと続けており、総会の会場は郡山駅そば(拙宅から6.5 km)ですが、毎歩歩いて往復しています。最後に会社生活を回顧してみます。

工業化学科卒で電機メーカーに入社し、その郡山製作所で18年、鎌倉製作所で24年勤務し、定年退職後も縁があって、更に

3年5か月程他メーカーで働きました。45年半近くの会社勤務では、一貫して化学技術者として働く事ができ、無電解めっき(金属/プラスチック表面)・電着塗装・薄膜ディスプレイ開発等の技術開発量産技術確立を手掛ける事が出来、恵まれた充実した会社生活を送れたと思っております。3年間に渡り、未熟な私を指導してくれた会工高に、多謝感謝です。

福島会工会 北芝会工会職域OBの集い

細野 敏充
(昭39 E卒)

福島市の北芝電機(株)に勤務して、定年退職後、同じ地域に住んでいても顔を合わせる機会が少なくなった事から、職域OB同士の現況を知りたいとの要望で、平成18年、北芝OB会工会として発足しました。

現在会員は16名です。活動は毎年一回、近郊の温泉旅館に一泊して総会、懇親会を開催しています。東日本大震災後は一時中断したのですが、今年は第七



回の総会を飯坂温泉、叶屋で六月に開きました。総会後の懇親会では、会員の近況報告やカラオケで楽しみました。又、今年長い人生で趣味を持たなきゃ駄目だと、65才の手習いで始めたというマジックを披露する会員もいて、おおいに盛り上がり久方ぶりに楽しく親睦を深めることが出来ました。しかし、非常に残念なのですが、最近健康上の理由でこの会に出席出来ない会員が出て来たことです。この会を楽しく、長く継続させるために、今年傘寿を迎えた、昭27 E卒の星武会長が『健康で長生き！』をモットーに、会員にハッパをかけて会をリードしています。結びに、会工同窓会の発展と、同窓生皆様のご健康、ご多幸を祈念いたします。以上

REPORT & MESSAGE

坂下会工会 坂下会工会の近況

会長 五十嵐 一夫
(昭43 A卒)

当会は昨年35周年を迎えました、その後の1年間の活動を紹介します。

同窓会の総会は例年9月初旬に開催しています、特色としては坂下駅から汽車で通学した仲間意識からでしょうか、会津高校と若松商業高校の地元同窓会を招待しています。そのほか本会同窓会関係はもとより、PTAの会長、湯川・柳津の同窓会、学校職員の方、町長等にもご来賓としてお招きし、会員相互の親睦を図っています。

活動としては、3年連続で同窓生でもある、箱根駅伝の駒沢大学の大八木監督を町のマラソン大会への招聘に際しては、同級生でもある同窓生会員の飯塚裕君の努力で、マラソン大会が盛大になり、町の事業・同窓会の活動に貢献しました。また歓迎会を主催して同窓会員にも多く出席していただきました。

また、坂下地区の同窓会対抗ゴルフ大会への会員の参加、地区PTAへの総会と懇談会が年2回あり出席し、学校における後輩の生徒の様子、活躍などを



知ることができました。3月にはマラソンの佐藤敦之・美保さんの送別会を会津高校同窓会に協力し、同窓会員も多数出席いただきました。そのほか新年会・役員会等を年間5〜6回実施しています。当会では学校100周年に当たり、サイパンを訪問した際お世話になった、松江春次氏のお孫様「シュガーキング基金代表」佐伯圭一郎氏と旧交を深めており、10月の松江春次記念館落成の際には、翌日大堀順一前会長宅を訪ねましたので、私と大堀前会長、梨子本幹事長と、大堀前会長宅で昼食を伴にしました。

そんな縁で5月に松江春次氏の孫、松宮伊佐子ご夫妻が会津を訪ねられましたので、サイパンで出生された「サイパンの語り部」である菅野栄子様と役員5名で懇親会を開催しました。伊佐子様は松江春次の長男一郎氏がニューギニアで戦死してから生まれ、孫にあたります。名前は会津の伊佐須美神社に因んだとのこと、伊佐須美神社の赤鳥居に松江春次の銘が刻まれているとのこと。



会津美里会工会

栗木 俊昭
(昭45 D卒)

七月半ば、会の事業で会津美里町から今年度入学した生徒に入学祝いの記念品を贈るため、母校を訪ねる機会がありました。

質素な贈呈式を終え、高校野球県予選の話題になり、半世紀近くになる入学したてのころの野球応援が脳裏をかすめました。半強制的な野球応援で、運動部以外の生徒は正當な理由が無く欠席したものなら、後に応援団幹部に呼び出され、嫌な思いをした記憶があります。まして試合後に歌うのは、必ずと言っていいほど、鶏鳴B調だったのですから。

坂下会工会は老若男女、包容力のある同窓会ですので、いろんな機会での多くの会員の参加を呼びかけています。当会の記事がよく新聞に掲載されますのは、竹村福雄会員が新聞店の関係で新聞社に働きかけてくれるからです、今後も多彩な催しを企画してまいります。

というところで、母校の初戦が七月一二日に会津球場で行われることを教えて頂きました。当日は、会津美里町高田地区の御田植祭だったのですが、応援に出かけました。球場は、とにかく暑い一言。プレーする生徒・応援する生徒が一体となりました。結果は母校のコールド勝ちゲームでした。相手のチームは十名の浜の高校でした。試合後の相手チームへのエールに、半世紀近くになるかつての野球応援にない感銘を受けました。

たかが三年、されど三年。年を重ねる程に、母校に対する思いは、若いころとは相違を感じるようになってきました。母校を変えることはできません。会津美里会工会は小さな会ですが、会員皆、思いは同じで、細々ながら活動してまいりたいと思います。

建友会 人生いろいろ、まだまだ現役

会長 小山 源昭
(昭38 A卒)

早いもので、建築科卒業から52年、この9月に古希を迎えて

至誠勤労

初志貫徹

しまいました。還暦までの42年は、建築ひとすじに、現場・設計・まちづくり等々、地元会津で悔いのない仕事を成就し、地域貢献に尽くしてきたつもりです。

一般的には、ここでとりあえず定年リタイアとなる訳ですが、人生いろいろ、全く畑ちがいの「道の駅」の立ち上げから携わり10年経過しました。「道の駅にしたい」として今は「道の駅しもこう」の駅長をしています。

「道の駅」とは、平成5年に全国各地から103駅が同時に登録し、あれから21年、現在1030駅を超え、売上高は大手コンビニチェーンをしのいでいます。当初は道路利用者へのサービスが中心でしたが、近年は、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性と魅力を活かした様々な取り組みが進められています。

発祥から21年、「道の駅」第2ステージへの進化へと、更なる取り組みが進められています。国土交通省道路局のメニューで「道の駅」は、まさに国民から評価され、なくてはならない施設となりました。「道の駅」のすばらしいところは、画一的でない、地元と一体となったシステムであります。「まち」の特産物や観光資源を活かし、「ひと」を呼び、地域に「しごと」を生

み出すための独自の進化を遂げ始めています。大袈裟に申すなら「地方創生の拠点に」と進化向かっているのです。

人は勝手に「道の駅の仕掛け人」と言っていますが、まだしばらくは、己のキャラクターを生かし、適度のプレッシャーを感じながら、「道の駅しもこう」、そして福島28駅の活性化のため、現役を引退できない立場でもあります。

先月、テレビの取材のとき、「ケーシー高峰」さんに「私の定年は、動悸・息切れ・立ち暗み・・・」と言ったら、笑って納得され、お互いいろいろなことに現役で励まされました。同窓生の皆さん、ちよっと遠くへ出かけたなら「道の駅」にぜひお立ち寄り下さい。そして気分よく寛いで下さい。

会工電友会 白虎隊と吉田松陰 (幕末・維新を再認識する)

顧問 棚木 武夫
(昭36E卒)

我が家の先祖の墓は白虎隊が自刃した場所の真下に位置して

いるが、毎年盆の墓参りの度に、あれから何年経ったのか想い起こされるのが常である。会津藩という国の存亡を憂いて主君に殉じた白虎隊士の勇ましく潔い態度と共に健気で哀れな態度に共感を覚え、百四十年経過した今も小学校修学旅行先の定番になっている。

実は私、今年の五月に山口県萩の観光ツアーに参加しましたが、余りにも有名な長州藩の吉田松陰は白虎隊士の藩を思う憂国の思いと、当時の開国を迫る外国の圧力に対して国の行く末を案ずる憂国の思いは同じでも、スケールの違いから比較は出来ない。佐久間象山の開国の必要性を説く思想に感化を受けて、

国禁を覚悟の上で外国に渡航しようとして捕らえられ、萩の地に幽閉された。いざれ開国の必要性を認識しつつ開国の急進派を排除しようとした罪で戊辰戦争勃発の九年前(一八五九年)江戸の伝馬町の獄で二十九才の若さで斬首された。その後、松陰の薫陶を受けた倒幕維新の志士を多く輩出した。

さて、徳川幕府という政治体制は、二百六十五年も続いたが、アメリカの黒船来襲の大分前か

らロシアやポルトガルなどから外国の情報が入って来ていたといわれている。特に外様藩の長州や薩摩などは幕府の江戸から遠い末端に位置し、何らかの形で情報や物流があったともいわれている。幕府内外に関わらず、識者の多くは鎖国の攘夷体制では対応出来ないと感じていたと思われる。その証拠に開国論は幕藩体制の崩壊を意味しているが幕府の重鎮であった大老井伊直弼は天皇の勅許を得ずに開国の突破口である日米修好通商条約の締結を断行したり、最後の將軍慶喜は幕臣勝海舟などとの助言もあり、大政奉還や江戸城無血開城を成し遂げたことでも理解できる。

それなのに、会津藩としても徳川幕府の大政奉還後に攻略される正当性は無かった筈であるが、新政府のイニシアチブをとる大義名分を得るため、薩長中心の皇軍として錦旗の御旗を準備し振り上げた拳の落とし先が孝明天皇擁護であった会津藩略は、京都での長州藩の遺恨があったものと理解している。

しかし、薩摩藩は会津藩と共に禁門の変で長州藩と戦った仲間でもありながら、長州と組んで

の会津藩略は理不尽な仕打ちであったといわざるを得ない。

つまり、吉田松陰は会津など日新館の視察や諸藩の状況を視察行脚したとの記録もあるようであり、藩の利害や怨念を超えて、国全体の行く末を案じた憂国の志士であったことは間違いない。吉田松陰の名前から受ける重々しい感じから、二十九才の若さで刑死したとは思えない大きな偉人と評価しても余りある存在である。刑罰を受けるため江戸からの役人に連行される前に詠んだ句碑に刻まれた旧松村塾の近くに、次のようにある。

「親思う心にまさる親心 今日のおとずれ何と聞くらん」の私利私欲を超えた憂国の志を親心になぞらえた句と理解される。



●今も残る松下村塾の遺構
※松下電器産業の創立者松下幸之助氏が松下政経塾が記憶に新しい。

REPORT & MESSAGE

機友会

会長 栗城 和夫
(昭41M卒)

機械科・精密機械科の卒業生で作る「機友会」の平成26年総会が、7月5日(土)午後5時から郷土料理「籠太」で開催されました。

幹事長菊地登貴雄氏の進行役として、渡部重三副会長の開会の言葉に続き、栗城和夫会長が「会員の一年間の活動に感謝の意を述べ、今後も会員増員を図って行こう」と挨拶をした。次に、事業・会計報告がなされ承認された。26年度事業計画等が審議された。本年7月18日終業式の後、校長室において機会研修部に激励金の贈呈が行われた。本年度10年間連続して金5万円を贈呈している。



栗城会長(中央)から激励金を受けた生徒ら

セラ友会

会長 渡部 洋子
(昭32K卒)

窯業科・セラミックス科・セラミック化学科の卒業生でつくる「セラ友会」は七月十九日(第三土曜日)午後四時からホテル「いづみや」にて、四十七名の出席のもと平成二十六年度総会を開催いたしました。

議長に昭和四十三年窯業科卒の青山孝男さんが選出され、事業報告・会計決算等や新年度のやきもの教室・史跡めぐり・研



修会等の事業計画・設立十五周年準備金等の予算は原案どおり承認決定されました。

会則の一部セラ友会弔意規定の改定が行われました。

その他として、母校からの報告や松江春秋記念館事業報告・会報二〇一五原稿・広告依頼・セラ友会設立十五周年記念事業

が確認されました。

総会後の講演は、「世界的な陶芸家を育てた女性板谷まる」と題して、昭和三十三年窯業科卒の佐藤悦郎様(会津坂下町さとう歯科・矯正歯科クリニック)のお話をして戴きました。

陶芸家として初めて文化勲章を受章された近代陶芸の巨匠でもある板谷波山の妻「板谷まる」会津坂下町生まれで、瓜生岩子の媒酌により波山と結婚し、赤貧暮らしを経て芸術家として大成するまで波山の陶芸家人生を生涯支えた。記念写真撮影後、懇親会は、楽しく和やかに行われました。



会工美修会

会長 曾根 賢治
(昭36L卒)

私、昨年前会長の白井氏が体調不良と云う事で残任期だけと引き継ぎを致しました。

これも歴代会長を補佐してこられた風間名幹事又他の役員方が居られた由に安心して心良く受けられたのでした。

五月二十五日の役員会にて引き続き会長を受ける事となり風間氏又副会長の儀同氏共に心強く思っ居りました。その役員会で初めて風間氏と美修会の運営等について話し合い、その中で風間氏が幹事長を退きたいと申し出て大変に驚き、皆で協力し



一意専心

威風堂々

補佐するという事でやっとお願いをしたのですが、今、思えば貴男も体調がすぐれなかったのかと、無理をさせたのかと申し訳なく思っています。

後日、風間氏と会った時に趣味の話になり、私と一致する事が多々有り、今後の御付合を楽しみにして別れたのが最後とかなり非常に残念です。

これからの会工美術会の事を天国から御見守り下さい。合掌

いわき会工会 設立一年を迎えて

会長 大川原 昌之
(昭28E卒)

昨年6月、いわき在住の会津所縁の方々による、いわき会津会の懇親会の席で後輩の佐野、梅宮両氏と談笑中、まるで同窓会のようなどねどね話した事から、今までいわきに同窓会組織がなく、企業内の同窓会が点在しているだけなので、横断的に同窓生の集える場が必要ではないかと話が弾み、それではいかに同窓会組織を作ろうと云うことになり、発起人会を立ち上げ、昨年9月29日に根本学校長、若狭同窓会長、藤田副会長



木村幹事長、いわき在住者12名の出席により「いわき会工会」設立の運びとなりました。
さて、この一年で私が思ったことを申し上げますと、校歌、応援歌を歌う機会が増えたことです。まず設立総会で歌い、電友会総会と同窓会総会、同窓会新年会と四回も歌いました。
入学してすぐに校庭に集められ、周りを先輩方が見守るなか、緊張(多少の恐怖心も)しながら練習をしたことが懐かしく思い出されました。



同窓生の皆様方も、おそらく同じことを思われるのではないかと思います。
昭和28年に電気科を卒業してから60年を超え、設立総会の懇親会で、学校長の根本和次先生がその年にお生まれになったとお聞きして隔世の感にとらわれ、俺も年をとったなと感じたのを覚えています。
昔のことを懐かしく思うのは、老化現象の現れかもしれません。が、若い頃には校歌や応援歌を歌う機会もなく過ごしていたの

が、電友会が発足してから、略毎年、総会に出席して校歌応援歌を歌うのが、楽しみの一つになっています。
同窓会の目的のひとつが、会員相互の親睦にあるのは当然として、在校中に汗と涙(?)で歌ったあの校歌、応援歌を同窓会総会などで、全員声高らかに歌い、若かりし当時の思い出などを語り合うのが、最大の目的ではないかと思っています。
同窓会の先輩後輩の皆さん、夫々の地域での同窓会の集まりに、是非参加して楽しむことをお勧めします。

昭和電工(株) 東長原会工会

山口 栄喜
(昭46E卒)

新たな支部長について、大塚裕一郎と申します。
今後とも、昭和電工会工同窓会東長原支部をよろしく願ひ

三菱伸銅(株) 鶴友会

会長 高橋 誠
(昭60E卒)

鶴友会とは、三菱伸銅(株)若松製作所内における会津工業高校卒業生からなる同窓会の名前です。最近、新入社員の入社が少なくなっておりますが、会員数は約120名です。会員の年齢構成としては、20代、30代が全体の約8割を占める若者が多い同窓会になっております。

鶴友会の活動としては、5月連休に実施する花見会・新入会員歓迎会と年末に実施する総会が主な会員同士の親睦の場となっております。以前は2年に一度、秋の行楽シーズンに泊まりの旅行を行っていたのですが、工場の操業体系が変わり、交替勤務も4シフトで回す土日休みが

REPORT & MESSAGE



無い勤務となってしまう、大勢で一緒に休める日が無くなってしまいました。その為、旅行が出来なくなっていました。自分は入社後、成田山、気仙沼大島、磯部温泉、山代温泉、湯の浜温泉、宮古、北海道など個人では行けない場所に行くことができ、楽しい思い出が沢山できましたが、今の若い会員はこの旅行の良さを体験していないので、とても残念です。

今年の5月連休中に行った花見会では、コンパニオンが時間通りに来ないハプニングがありました。こちらからは店側へ手配をお願いしていたのですが、店側が悪いのか、連絡を受けたコンパニオン側が悪いのか結論は出ませんでした。何とか数名だけでも寄せ集めていただき



ました。会員は若者が多く、コンパニオンと話すのを楽しみして集まってくれているので、何とも後味の悪い花見会となりました。10年以上前になりますが、他の店でも店側の手配ミスでコンパニオンが来ないハプニングがありました。この時は全く1名も来ることがなく、全く盛り上がりなかったと記憶しております。これで自分が知っているコンパニオンのハプニングは2回となりました。こちらからは再三確認していても、この様になってしまふのでは、再発防止対策としては、こちらから直接コンパニオンを手配する



しかないですね。困ったものです。
この様に、現在は年2回の同窓会を行い会員相互の親睦を深めあっております。また、同窓会では必ず会津工業高校の校歌と応援歌、頑張れ応援歌を全員で合唱していますので、卒業しても忘れずに覚えております。これからも頑張ってください。しょう。フレツ、フレツ、フレ！

OB会

会工元気会 第17回会工元気会総会

会長 江花 光泰
(昭31L卒)

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、毎年10月中旬に開催しています。今年は10月16日に会津若松市内の會津迎賓館「寿し万」にて総会を約46名の出席のもと開催されました。江花光泰会長のあいさつ後、今年度の事業報告や決算報告、次年度の事業・予算案を承認されました。

総会終了後懇親会の席上、新会員4名の紹介がなされ、母校からは来賓として学校長・二瓶益幸様に出席していただき、和やかに懇談し親睦を深めました。
150人を越える教職員の先生方にご案内しますが、多くの参加で一堂に会し旧交を温めていただけるよう望んでおります。

平成26年度の役員(敬称略)
会長 江花 光泰(漆工)
副会長 小林 満美(繊維工業)



小林 憲一(建築)
高橋 繁(体育)
宮崎伊都夫(理科)
三原 敏男(社会)
本田 毅(情報技術)
古畑 一男(化学)
佐竹 勝行(機械)
菅原 健治(建築)
岩田 善一(機械)
吉川 久雄(電気)
新国 基次(国語)
佐藤 容子(音楽)
梨子本 傑(窯業)

温故知新

クラス会

電子会

会工46電子会

福王寺 一元

(昭47D卒)

本会は、昭和46年度電子科卒業生の同級会組織です。

30余年の時を越えて平成18年から原則隔年開催で会を復活させました。

今回は、還暦の歳に合わせ平成25年9月28日に東山温泉東鳳にて「会工46電子会 復活第4回還暦同級会」と銘打って開催致しました。

同級会の前に、有志5名によりメロウウッドゴルフクラブにてゴルフを楽しみました。

また、東鳳の神事式場にて、21名が蚕養国神社の宮司による還暦の祈禱お祓いを受けました。

同級会参加者は、恩師田辺精治先生も含め24名が全国から集まってくれました。

次第は以下の通りです。

司会進行 幹事 影山良智（会津若松市在住）
1、会長挨拶 室井利夫（東京在住）
2、平成25年4月20日に急逝した星和也（田島町出身）の状



況報告 大竹進（南会津町田島在住）
3、物故者への黙祷
4、恩師 田辺精治先生からのご挨拶
5、東日本大震災により被災した一条勝人（宮城県亘理郡山元町在住）による支援金への御礼と復興状況の説明
6、乾杯 松浦修（神奈川県平塚市在住）
7、各人からの近況報告

8、中締め 武藤義則（神奈川県相模原在住）
9、2次会

今回の同級会は、これまで所在不明であった星和也の急逝の報告や、東日本大震災で被災した一条勝人からの支援金御礼と復興状況の説明など盛りたくさんの話題がありました。やはり還暦を迎えての第二の人生設計についてが主題となり、朝方まで語り明かした者も多く、より一層の結束力を育むことのできた同級会となりました。

今回は2016年開催での再会を誓って閉会となりました。

寄稿

私の文武両道

浅沼 定雄
(昭33K卒)

私が投稿するとうしても文武両道の話になってしまいます。「文」では詩吟であり、「武」では陸上競技とスキー競技である。どちらも会工に入学生してからです。スキー競技は三年生の時、



の必須科目であった漢文から始まり、渡部康雄先生にご指導いただいた詩吟と白虎隊の剣舞です。日本古来の文化である詩吟も白虎隊だけでは世に通用しない、何とか物にしたくて勉強です。四年間の通信教育、三重県の山路宗家に師事（現在も）し、平成十五年にティチクレコード社の専属吟詠歌となり頑張っております。昨年刈谷文化協会主催の文化祭が開催され、大河ドラマ「八重の桜」で盛り上がった会津、会津と言えば白虎隊で、私のところに要望があり、白虎隊の剣舞を演じる事となりました。

最後になりましたが、若い新会員の皆さん就職先では必ず目的と目標を持って頑張ってください。

REPORT & MESSAGE

会工祭のおもい出

渡部 稔
(昭25K卒)

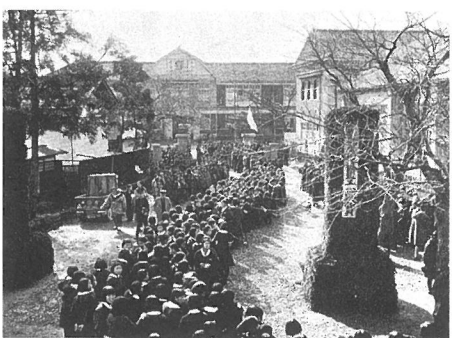
その1

昭和22年の秋、三日間（金・土・日）開催された。正門前には朝早くから大勢のお客が一升瓶をぶら下げて正面前より北側の道路までの行列で開門を待つ異様な風景（今では）でした。

開門、待っていましたとばかり入口より廊下を我先とばかり突き進んでいく。先頭はどこへ：応用化学科実験室へと、ここで会工醬油作った処。早速一升瓶に醬油入れていただきヤッタ！とばかりの笑顔、また、一升瓶をぶら下げて歩く姿。ほほえましいものでした。それと会工化粧クリーム、女性は手にもっていました。これがまさしく大商品でした。又機械科では炭化アイロンやコテ、若い女性は和裁の習い物、嫁入り道具の必需品でもあった。

戦後物資がなかった時代、会工祭の品物の良さと信用から売店でも飛ぶように売れた時代。この時の会工祭は会津工業学校として最後の会工祭でした。

そのII
会津工業高等学校として第一回目会工祭です。昭和24年の秋、



創立35周年記念祭 昭和16年11月

期間は1週間。しかも会工祭に入場券（前売券含）が必要でした。入場券は一枚4円99銭です。何故 5円になると税がかかってしまいます。従ってこの入場券には税務署の印がありました。又この期間中には郡山―会津若松間に「会工祭でテレビをみよう」の臨時列車が運転されました。松江記念館の西側の教室には舞台が作られ、テレビカメラが据え付けられ、その隣の教室には目線より一段高くテレビが置かれ準備完了。初日から小中高校の団体を始め一般の観覧客の行列でいっぱいでした。各校の団体はコーラス部がカメラにむかって合唱し、これが隣のテレビへ写し出される。

アツ、Aさん、Bさんが写ったと大喜びでした。
※テレビは30型位の白黒テレビでした。これにより一般家庭に普及されるきっかけとなった会工祭でした。この時の入場者は一日一万人、計七万人の出入がありました。

「私の夢」実現へ

水野 俊彦
(昭39K卒)

会津が生んだ偉大な二人、草名家16代城主草名盛氏公と、徳川三代にわたり「黒衣の宰相」天海僧正である。草名家は平家を滅ぼした源頼朝が、文治5年（1189）奥州藤原氏に身を寄せていた弟の源義経の討伐をきっかけに藤原氏を滅ぼして東北地方を支配下に置き、征夷大将軍に任じられ鎌倉幕府を開いた。それにより軍政のあった、三浦一族が会津の地を与えられ草名家を名乗った。あの有名な「鴨越の坂落し」として義経の名をとどろかせることになった。伝説的な戦いで立役者だったのが「草名の祖」佐原十郎左

衛門尉義連といわれております。草名家の当主をはじめ家臣団がぞくぞくと会津入りをした。佐原は一族を始め在郷の勢力と覇権をめぐり血で血を洗う激しい抗争がはじまり、会津も戦国時代に突入していくことになりました。

大永元年、草名家15代盛舜（もりきよ）の子として盛氏が誕生、戦国時代の真つただなかに生を受けた。盛氏は17才で当主となった。まだまだ紛争が続いていた会津一円を見事にまとめあげてしまします。16代盛氏は草名氏「中興の祖」とも称され、黒川草名時代を通して最も勢力が強大であった時期の人物である。永禄4年盛氏は家督を盛興に譲り、本郷に向羽黒山城が完成すると隠居の形で移っている。山城としては奥羽（東北）随一と言われている。城の周囲には町が形成されていた。この時代最強であった「越後の虎」の異名を持つ上杉謙信の最大のライバルであった武田信玄をして「丹波の赤井、江北の浅井、会津の盛氏、若年の対象には家康なるべし」と言わしめています。この盛氏という武将は、想像をはるかに超えた一流の人物であったのに

ある。

会津が生んだ偉大なもう一人の人物、その人天海僧正。幼名は兵太郎、仏門に入り隋風、天正12年川越無量寿寺慈大志（大僧正）となる。会津高田町に文殊菩薩の申し子として元日にうまれたとか。父は草名家の重臣で船木景光、母は会津草名一族、草名盛常の息女であると言われた。会津高田町の龍興寺には、両親の墓碑がある。幼少から利発で知識を求めることに興味を持って成長していった。江戸時代の初期に徳川家康を東照大権現の神号で日光に東照宮を鎮座したことは日本史上重要な意味をもっている。又徳川将軍家康、秀忠、家光、三代にわたり幕府を支え影響力を続け仏教会の最高の称号と栄誉で讃えられている。



根性一途

REPORT & MESSAGE

24 | 会工同窓会報No.39
'14(平成26)総会号

今年度受賞・活躍された方々

設立 50 周年を祝う 曾根賢治さん（昭36L卒・会工美修会会長）

設立50周年を祝う 三義漆器店(意)が記念式典

三義漆器店 設立50周年記念式典



設立50周年を祝った記念式典で
あいさつする曾根社長

会津若松市の漆器の製造・卸販売業「三義漆器店」(曾根佳弘社長)は24日、同市で設立50周年記念式典を行い、社員らが半世紀を振り返り、今後一層の発展を誓った。

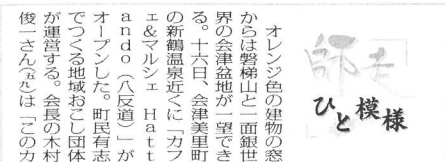
約130人が出席。曾根社長が感謝を述べ、社員



会津漆器の職人時代から
思い出さる曾根氏

平成26年5月25日付 福島民友

カフェで地域元気に 木村俊一さん（昭46K卒）



オレンジ色の建物の窓からは磐梯山と面銀世界の会津盆地が一望できる。十六日、会津美里町の新鶴温泉近くに「カフェ&マルシェ Hattando(ハ反道)」がオープンした。町民有志が運営する。会長の木村俊一さん(このカ

フェを拠点に古里の魅力などを伝えていきたい」と建物を見詰めた。

全国的に少子高齢化や人口減少が進む。地域を元気にしたい。木村さんは仲間と地域おこしを続けてきた。町内西部地区は、野口英世の母も信仰した中田親吉や法用寺などの名所がある。会津若松市や新鶴、ワインなどの産地。これらを活用し、独自のソ

地元には開業家やそば打ち名人らがあり、地域の協力も得ながら、交流人口を増やしたい考えだ。「本日のスタートはこれから。木村さんは表情を引き締めた。

住所は会津美里町米田字吹上下甲505。営業時間は午前10時～午後5時。定休日木曜日。21日にグランドオープンする。

情報をお寄せください 電話024(531)4122

福島民報社

瑞宝単光章・瑞宝双光章受賞

五ノ井義次さん（昭41T卒）

印象深い中越地震援助隊

瑞宝双光章

五ノ井義次さん 67

会津若松市門田町御山
元会津若松消防署長

「仕事に励んだことが形になった」と喜びを語る。

会津若松市出身。会津工高卒。1966(昭和41)年に消防士になり、会津若



消防課長
だった2004年の新中越地震では県の緊急消防援助隊として現地入り。被災者の迅速な救助に尽力した。

福島民友

芳賀正義さん（昭42K[卒）

火災予防に尽くした35年

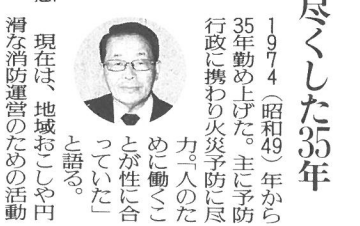
瑞宝単光章

芳賀 正義さん 66

南会津町田島
元南会津地方消防本部次長

「上司、同僚をはじめ、陰で支えてくれた家族に感謝する」と謙虚に語る。

下郷町出身。会津工高卒。



現在、地域おこしや円滑な消防運営のための活動に取り組んでいる。

福島民友

武藤忠博さん（昭47G卒）

環太平洋合同演習に参加

瑞宝単光章

武藤 忠博さん 61

会津若松市白虎町
元海自護衛艦しらね
機関士

「定年まで勤務できたのは家族の協力と応援があったから」と語る。

会津若松市出身。会津工高卒。1972(昭和47)



年に入隊。護衛艦「ありあけ」に、環太平洋合同演習(JMOPAC)などを経験した。「事故がないよう、船を走らせることに一生懸命だった」と振り返る。

福島民友

部分と全体

教頭 山内 秀治



は、日頃より本校の教育活動につきまして特段の御理解と御協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年6月21日には東京上野精養軒で行われました東京会工会、9月3日には会津坂下町わたりで行われました坂下会工会に参加させていただきました。いずれの会も、本校OBの方々が熱く本校の思い出あるいは現況を語り合っていたらしくお姿を拝見し、高校時代というものは人間の一生に深く大きな影響を与えるものであり、それはいつ会っても変わらない暖かな心の交流をもたらすものであるということをつくづく感じた次第です。

今回おじゃました坂下会工会では、本校OBで、若宮重陽院院長・医学博士であり、東北大学大学院医学系研究科非常勤講師でもいらつしやる渡部正司様の御講演がありました。そのお話のなかで、西洋医学は概して体の部分部分に現れる症状に対して治療を実施するものであるのに対して、東洋医学は表に現れている症状の改善はもとより、病の本質を治療し、全体を整えることで、自然治癒力を引き出し治療を早めていくものであるというお話がありました。

このことは、生徒の教育について言えば、あることがらが生徒に起こったとき、とりあえずはその事実に対処する必要があるものの、根本的解決のためにはその背後に横たわっているいろいろな状況を把握し、最後は全体的・包括的な生徒理解へとつなげていくことの重要性に通じるものがあると思います。

同窓会の皆様におかれましては生徒の進路等につきましてお世話になることが多々あるかと存じますが、今後とも御支援の程よろしくお願いいたします。

進路指導部から

主任 大塚 正幸



全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありが

がとうございます。

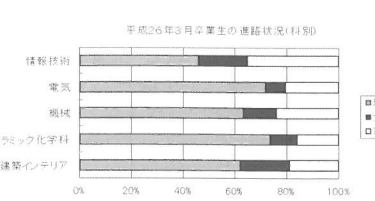
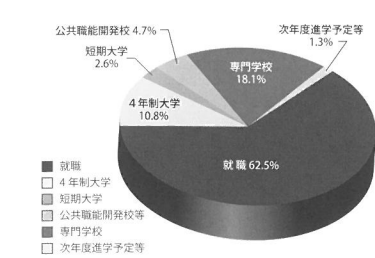
さて、平成25年度の本校の進路状況は、就職者が60%強、進学者が40%弱という結果でありました。就職希望者に関しては3月中には、内定を頂くことができましたが、進学者希望者に関しては、センター試験受験した者など若干次年度受験となった者がおりましたが、卒業生の希望進路実現にばば迫り着くことができました。これは、生徒一人一人が目標を持って進路に望んだ成果であると思われま

平成25年度の進路決定状況をグラフ1に、学科別進路内訳をグラフ2に示します。

グラフ1 平成25年度 進路先別状況

グラフ2 平成25年度 学科別進路内訳

グラフ1 平成25年度卒業生進路状況



グラフ2 平成25年度 学科別進路内訳

具体的な進路先につきまして、学校ホームページをご覧ください。

就職者の合計は145名でした。(このうち民間就職内定者が県内75名、県外64名の計139名、公務員6名)。就職者の割合としては、例年とほぼ同じ程度でした。また、25年度の求人件数は713件で、24年度の672件より若干増えております。25年度の特徴としては、昨年に引き続き震災復興事業により建設関係を中心に求人が多く提出され、例年よりも県内の建設関係に就職したものが増えたようです。また、県内企業を中心に8月以降も求人する企業が増えてきたように思われます。この傾向は、26年度も継続しており、例年よりもさらに早い段階で、県内外の企業の皆様が、来校されている現状です。ここ数年就職者が増えている背景としては、県内外の各企業で多くの同窓生の皆様が活躍されているという実績と、本校の教育活動にご理解をいただいている各企業より、ぜひ工業高校生を採用したいという要望があることから、会工卒という望まれた状況で就職したいと考えているようです。

進学者の合計は84名でした。その内訳は、大学・短大が31名、専門学校進学が53名というものでした。25年度の特徴としては、大学進学者の多くは、工業系の学部に進んでおり、工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を活かした企業への就職を考えているようです。また、指定校推薦で進学する生徒が多い中、センター試験を利用し国公立にも挑戦し、日々努力をして見事に合格した生徒もいました。ただし、難関大学等については、努力が足りず次年度受験する生徒もいたのが現状です。専門学校進学者は、工業系の他に医療系の専門学校に進学する生徒が多かったようです。このように目標をしっかりと見据え、資格などが取得できる、卒業後の進路を考え実務的な進学が多かったのが特徴です。

最後に、同窓生の皆様が、会工卒に誇りを持ってもらえるように、在校生も会工生としての誇りと自覚を持って高校生活を送り、卒業時には生徒全員の希望進路が実現できるように、今年度も全教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも会工同窓生の皆様の変わらぬご支援の程、よろしくお願い致します。

26年度新入生

1学年主任 加藤義勝（昭56卒）

110周年を迎えた伝統ある会津工業高校に、新たに240名の新入生が加わりました。4月少し緊張した様子で会工の門をくぐり、何もわからないうちに校歌応援歌の練習が始まり、定期考査、強歩大会、校内球技大会などの行事がたくさん行われ、1年生も精一杯頑張っており組みました。また、部活動では地区大会や県大会、各種コンクールなどに参加した生徒もいました。そんな1学期があつという間に過ぎた感じがします。入学から約6ヶ月が過ぎようとしています。会工にもすっかり慣れてきた生徒は、それぞれ楽しく学校生活を送っているようです。勉強や部活動にも頑張っていますが、すぐ部活動をやめてしまう生徒もいます。学年全体から見ると、学校生活を通して少しずつ成長しているようです。検定試験の補習を受け資格に挑戦したりしている生徒も見えてきました。今しかない高校3年間、何かに打ち込むものを見つけてくれると、担任としてありがたいと思います。

担任は20代から50代の年齢層の学年です。また各クラスに女子生徒が在籍しているというめずらしい学年でもありません。それぞれが目標を持って高校生活を送れるよう担任及び教職員一同援助していきたいと思っています。

今後とも同窓会の皆様方には、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

2年生になりました

2学年主任 滝沢 全

夏休みが終わったこの時期、残暑が厳しく授業に集中できない生徒も多いのですが、今年の夏は比較的涼しく、机に隠れてパンツ丁でいる生徒もほとんどいないみたいです。雨も多く、特に西日本ではひどい災害が起きました。会津は比較的自然災害が少ない地域だと思いますが、私の出身地である金山町でも三年前に大きな洪水がありました。只見線は未だに一部不通になっています。このごろは地球温暖化の影響か、天気の変動が激しいみたいです。

早いもので入学して一年と五ヶ月が過ぎました。もうすっかり会工にも慣れ、伸び伸びと学校生活を楽しんでいます。身体的にも精神的にも大きく成長しました。夏休みの体験入学では、作業着姿で実習の説明をしている生徒を見て「やっぱり高校生になると中学生と違って大人ですね。」と言っている保護者の方がいきました。とても大人とは言えませんが、いつの間にか立派

卒業に向けて

3学年 清水 裕二

高校生活は、子どもから大人への過渡期にあたるため、どちらにも所属しきれない不安定な時代と言われます。これをドイツの心理学者レヴィンはマージナルマン（境界人・周辺人）と称しました。また、アメリカの精神分析学者エリクソンは、肉体的には十分大人であるが、研修のために社会人としての責任や義務を一時猶予される期間として心理的・社会的モラトリアムと称しました。人間にはいろいろな可能性があり、さまざまな願望があります。そうした願望に向かって努力し、その中で自分が自分である意識、自分が自分であることを肯定的に受容することを意味するアイデンティティの形成がされる時期だと考えられています。

な会工生になったみたいです。部活でも3年生が引退し、2年生が新チームの中心となって活躍しています。資格取得もそれぞれの科で一生懸命取り組んで結果を出しているようです。後は、普段の勉強をもう少し頑張ってくれればいいんですが、校内漢字テストでは、3年生には遠く及ばず、1年生にも負けてしまっています。このままでは一年後の就職や進学試験に向けて心配です。少しでも力を付けさせたいと思い朝自習を始めました。少しずつ意識を高めていくしかないみたいです。3年生は今、就職試験を目前にして頑張っています。2年生もそんな先輩の姿を見て、自分の進路を真剣に考え、夢の実現に努力してほしいと思います。

今年の3年生はどうでしょうか。入学当初から幼い行動、自己中心的な行動が多く見られました。生徒指導部の先生方にお世話になる件数も多く、授業に集中できない生徒も多数おり、心配されました。そんな状況の中で担任七名がそれぞれ生徒たちと真剣に向き合い、時には叱り、時にはともに笑い、進路の時には叱咤激励しながら現在に至りました。私は今年で本校十一年目をむかえますが、赴任してきた当時の生徒と現在在学している生徒ではだいぶ氣質が変わってきたように感じます。その変化にとまどいながら、悪戦苦闘しながら目の前の生徒の成長を信じて指導してきました。我々教師の成果はすぐに出るものではありませんが、十年後、二十年後に生徒たちがわかってくれればそれで良いと考えます。

生徒の思い、保護者の思い、担任の思いを紡ぎながら残りの半年間を過ごしたいと思っています。皆が心からの笑顔で卒業式をむかえて欲しいと考えています。

絵画展・写真展・美術展を開催しました

第九代会津若松市長松江豊寿の弟 松江春次は、明治の終わりに日本で初めて角砂糖の製造に成功した。彼は大正時代、南洋の島で製糖事業（南洋興産）を立ち上げた。多くの開拓民と共に、ジャングルを切り開き、畑を耕してサトウキビを栽培していった。次々と立ち上がる苦難にも不屈の精神で立ち向かっていき、製糖事業家としても大成功を収め、現地ではシュガーキングと呼ばれた。

本展は松江没後六十年を記念して、開拓時代のサイパン及び当地の製糖風景を描いた油絵と若き日から晩年の松江春次関連の写真、および春次縁の県立会津工業高校同窓会「セラ友会」会員による作品を共同展示する。

いまあらためて、蘇る当時の風景と普段は見られない特別絵画・写真企画等をお楽しみいただきたい。

会工
美 術 展
『会津人 松江春次と、その時代の南洋』
～ 松江春次 没後60年 絵画・写真展 ～
同時開催



《期 日》平成26年10月23日(木)～27日(月)
10:00～16:00
(初日は13:00～ 最終日は15:00まで)

《会 場》会津若松市生涯総合学習センター
『會津郷古堂』1階市民ギャラリー

《主 催》福島県立会津工業高等学校同窓会『セラ友会』
Sugar King Foundation

會津人松江春次没後六十年記念 絵画展・写真展・美術展
シュガーキングと、その時代の南洋

会期／平成26年10月23日木～27日月 10:00～16:00(初日は13:00～ 最終日は15:00まで)
会場／会津若松市生涯総合学習センター「會津郷古堂」1F市民ギャラリー
〒965-0871 福島県会津若松市東町3-5-0



板倉栄治
1933 サイパン島カラバナン町生まれ
1942 石川製糖株式会社入社
1950 会津若松市立工業学校卒業
日本国有鉄道、日本信託銀行、
1984 会津若松市立工業学校校長
2004 会津若松市立工業学校校長
2012 同窓会理事長
東京府小金井市在住

主 催 Sugar King Foundation 會工同窓会「セラ友会」
共 催 会津若松市、Sugar King Foundation、會工同窓会「セラ友会」
企画・運営 同窓会、福島県立会津工業高等学校、松江春次顕彰会、会津若松市
協 力 同窓会、福島県立会津工業高等学校、松江春次顕彰会、会津若松市
連絡先 佐伯 圭一郎 090-4054-6364
飯子 幸 徳 090-5187-4109

オープニングセレモニー 平成26年10月23日



展示会の様子



展示会の様子



松江春次翁の子孫を囲んで

「松江賞」同窓会賞」受賞!!

松江賞



建築インテリア科
五十嵐 美奈

今回、このような素晴らしい賞を受賞できたこと、誇りに思っています。私は三年間、松江賞を狙って勉強や生徒会の活動などに励んでいました。なので、三年間のラストで目的の賞を受賞することが私の一生の思い出となるでしょう。



セラミック化学科
笠原 大輔

三年間、色々と努力してきたことが賞され感謝を受けています。この賞を「結果」として見るのではなく「糧」として見て、より良い方向へ精進して行きたいと思えます。また、松江賞受賞にあたり、たくさんの方に一生懸命になりました。この姿勢を忘れることなく頑張りたいと思います。支えていただいた先生方、親、友達に感謝し、御礼申し上げます。



機械科
白井 和輝

まず提出物をきちんと提出することです。そうすることで定



電気科
佐藤 優

期テストでも点が取りやすくなり、日頃からそうだったことを取り組んでいけば進路実現につながることを知りました。この松江賞に甘んじることなく、これからも努力し続けたいです。



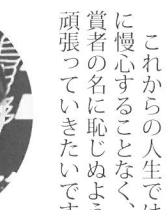
情報技術科
猪俣 智也

この度は松江賞を受賞し大変嬉しく思います。私は高校生活の中で普段の授業や定期考査、また工業高校の醍醐味でもある課題研究を頑張ってきました。特に、定期考査の勉強には力を入れて取り組みました。考査前の夜にいつもの日の範囲を頭に叩き込み、睡眠を取らずに考査にのぞむこともありましたが、反省点としては、考査が始まる一週間か二週間前か勉強しておけば、前日に切迫する必要はなかったことです。今後も高校生活で培ってきた集中力を生かし努力を怠ることなく、松江賞の名に恥じない社会人生活を送りたいと思います。



機械科
中村 拓矢

この度、松江賞を授与いただき本当に嬉し限りです。一年生のころから勉強に部活動、資格取得と努力してきたという自負はありましたが、それがこのような賞をいただく結果



セラミック化学科
小檜山 雅貴

賞をいただけて、とても嬉しく思います。この賞に恥じない、言動・行動をしていきたいと思っています。



情報技術科
猪俣 智也

この度、このような栄誉ある賞をいただけたことを大変うれしくおもっています。思い返せば、三年間勉強やその他の学校生活を自分なりにがんばってきたように思います。その結果としてこの松江賞がいただけたのだとすれば、とてもうれしいです。三年間がんばってきたよかったです。また、受賞したことを結果として終わらせるのではなく、これから進学してもがんばってきたいと思っています。副賞でいただいたペンと印鑑は、これから使用する機会も増えてくるだろうと思いますので、大事に使っていききたいです。



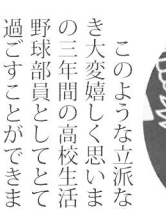
建築インテリア科
田口 美季

このような伝統と秩序のある



セラミック化学科
小檜山 雅貴

賞をいただけて、とても嬉しく思います。この賞に恥じない、言動・行動をしていきたいと思っています。



セラミック化学科
小檜山 雅貴

このように立派な賞をいただく大変嬉しく思います。私はこの三年間の高校生活はH.R.長、野球部員としてとても充実して過ごすことができました。途中でH.R.長を辞めたいと思う時もありましたが、クラスの人や先生に支えられやることができました。野球部では人としての基礎を学び立派な社会人になったと、たくさん学ばせていただきました。勉強も野球部の勉強会でも集中して取り組むことができたので、この三年間頑張ってきた成果を収めることができたと、この三年間の頑張りを評価していただき大変嬉しいです。これからは社会人としてこの賞に恥じないよう新たなスタートをすて頑張っていきたいと思っています。



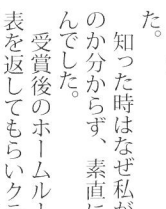
機械科
皆川 涼

陸上の成績があつたから受賞できたのだと思います。それは周りで支えていただいたおかげです。これから社会人となるので、この三年間で学んだことをわすれず過ごしてい



機械科
橘 友光

私がこの同窓会賞をいただけたと知ったのは、2月28日でした。知った時はなぜ私が受賞したのか分からず、素直に喜ばせていただきました。受賞後のホームルームで成績表を返してもらいクラスで3位だったことに気づき、ようやく喜びが感じられ、とてもうれしかったです。3年生になり、1学期は12位、2学期は6位と良くなっているが、初めて3位になってとてもうれしかったです。このうれしさを忘れずに、もっともこの喜びを多く感じられるように頑張っていきたいです。



情報技術科
室井 信世

今回、私が同窓会賞を受賞することができ、正直驚きと嬉しさでいっぱいです。2年間背中を向け起立する先輩のいたその場に自分があることが不思議な気分、胸の高鳴りがおさまりませんでした。私は今まで何度も賞を取れず悔しい気持ちを抱いていました。『いつか表彰台に立つてやる』そう強く思いながらもその夢は今日まで叶うことなく、3年間



電気科
舟木 聖也

の高校生活を終えるのだと悲しい気持ちでした。しかし、最後に同窓会賞という素晴らしい賞を頂くことができたと思えました。これからの賞に恥じないよう、努力をしていきたいと思っています。

平和の覇者を育みぬ。

学び舎



建築インテリア科

主任 田中 哲

日頃から、同窓生はもとより、地元企業等々、地域社会にご支援いただきありがとうございます。地域に根ざし、社会に貢献できる人材の育成を目的に、在校生が益々活躍できるよう、今後とも本科の教育活動に皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度末に本校を最後に定年退職された渡部孝志先生に代わり、新卒の長谷川秀平先生をお迎えし、本科8名のスタッフで以下のように今年度スタートを切りました。

- 【科職員】
- 長谷川 徹 菅家 慶広
 - 黒澤 静子 鈴木 武
 - 岩淵 浩之 高橋 弘光
 - 長谷川秀平 田中 哲
- 【クラス】
- 3年1組
 - 正担任：鈴木 武
 - 副担任：西坂美穂子（家庭科）



木材加工安全講習会（郡山北工業高校にて夏季休業中）8/4・5



高校生が参加する地域防災 3年生 9/2（本校視聴覚室）

ロケーション——1専門課程は、いま。

3年2組

正担任：今川 吉晃（社会科）

2年

正担任：長谷川 徹

副担任：神田 美香（国語科）

1年

正担任：黒澤 静子

副担任：福島 広己（体育科）

（H25年度1年担任湯浅亜希子先生は、会津看護学校へ転勤）以上、クラス担任を合わせる12名で構成されております。震災以降3年目、本科初の2クラスの生徒の進路が目前に迫っています。ここを如何に乗り越えるかが今年度の大きな課題と考えてきました。就職・進学と受験先確保は、夏季休業中までの努力の甲斐あって、殆どの者が

が決定している状況です。これから本番です。日々の活動の成果を精一杯発揮し、内定・合格を勝ち得て欲しいものです。今年度の求人においては、建設関係企業が復興支援、またはオリンピック景気などでの人材確保が多く求められ好調です。管内企業においても例年になく求人数が伸びており、希望者も多く受験することができそうです。受験の際は、厳しく採点していただき、また、卒業までの課題等をいただけたらと生徒自身の励みになります。インターンシップでは、建設業協会にお世話いただき、また、地元建設業の協力の下、2年生全員と、今年度から1年生12名が就労体験させていただくこととなります。地元で活躍す



2年生 8/24 古川町復興住宅建設現場見学（会津若松市古川町地内）

る企業を知り、一人でも多く建設系への就職希望者が増えることを期待します。生徒には有意義な経験になるよう指導しますので、企業の方々、是非とも温かい目と、時には厳しく教育いただければ幸いです。《進路状況》（県外）9名、公務員1名



セラミック化学科

主任 村田 光夫

セラミック化学科

セラミック化学という科名になって今年で7年目。この3月には、4回目の卒業生を送り出すことができました。地域に密着し、貢献する学科を目指しています。今年も、女子の入学生徒が多く、定員の過半数を超えて21名の女子が入学してきました。化学の知識をベースに伝統工芸から新素材の分野まで幅広く学習します。地場産業の焼きも

進学（大学等）7名
（専門学校等）7名
《ジュニアマイスター顕彰》シルバー受賞 4名
《資格取得》2級建築施工管理技術検定 14名
3級技能検定建築大工 6名
《今後の予定》県高校生ものづくりコンテスト生徒作品展（会津稽古堂：2月予定）

の伝統技を受け継ぎながら、ファインセラミックス・ガラス・化学製品全般の知識や技術を学びます。具体的には、茶碗、電子部品、色ガラス、人工骨、リサイクル石けんなどを実際に作り、分析・評価する体験的な学習をしています。また、本学科卒業生の同窓会組織であるセラ友会からもセラ友会入会式や各種行事に対して様々な支援をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

●生徒たちの活躍
セラミック化学科は、地域貢献活動が盛んな学科です。毎年参加している行事では、5月の最終日曜日に開催されているふれあい茶会、毎年8月の第一日曜日に開催される会津本郷せと市、10月の最終土日に開催されるものづくり学園祭など、たくさん

さんの生徒が積極的に参加してセラミック化学科の名称を地域に発信してくれました。そのほか、昨年は風と土の芸術祭が4年ぶりに開催され、本校からも多くの体験やお茶会、作品展などしました。資格取得にも積極的に取り組む生徒が多く、今年は特に8月の時点でジュニアマイスターシルバー取得者が3名でした。ジュニアマイスターとは各資格に点数がついておりその合計点数が30点でシルバー、45点以上でゴールドの称号が与えられます。3名の特徴としては、毒物劇物取扱者試験にいずれの生徒

も合格しており、その点数が12点というところもあり合計30点以上になったものと思われれます。卒業までに何とか45点以上にして是非ゴールドを取得してもらいたいと思っています。

●今年度の報告と今後の予定

今年度、すでにたくさんの方々の行事が消化しました。まずはふれあい茶会ですが、大沼高校が都合が悪く今年は会工のみで参加しました。茶道同好会の協力もあり大成功に終わりました。来年も開催予定なのでOBの方々に来場してもらいたいと思っています。また、8月のせと市も暑く、生徒たちの協力もあって完了しました。今年の傾向としては、大物よりも日用食器として常に使われる品物の売れ行きがよかったです。財布のひももきついに感じました。



平成26年度の会津本郷せと市の販売風景

M

機械科

主任 渡部 哲

今年度の人事異動では、永らく本校の機械科に勤務していただいた玉川誠先生がめでたく定年退職されました。また、常勤講師の川口芳彦先生が退職され、大久保甚一先生が喜多方桐桜高校、益山 心先生が埼玉工業高校に転出されました。代わって平工業高校から山田賢先生、白河実業高校から鈴木雅博先生、新採用で阿部友一先生と根本直樹先生の四名が着任されました。今年度も十四名のスタッフ



新実習棟（南側）



新実習棟（北側）



新しく導入された平面研削盤



新しく導入された立てフライス盤

フでスタートすることになりました。担任は、一年一組由田桂一教諭・二年二組小島二郎教諭・二年一組益子茂教諭・二年二組齋藤正志教諭・三年一組吉田孝明教諭・三年二組小沼雄司教諭の六名でクラス経営にあたっています。

機械科では「ものづくりは人づくり」を目標に掲げて、生徒の指導にあたっております。当然、学校内では困った時の機械科と重宝され、生徒・教員が、会津工業高校のために頑張っております。昨年度も、生徒と職員のおかげで頑張った一年になりましたので、その頑張りを簡単に報告させていただきます。

◇進路について

就職四十七名、四年生大学八名、短大二名、専門学校十九名の計七十九名の卒業生で内定率一〇〇％を達成することができました。傾向としては、地元企業からの求人が増加して、生徒にとっては大変助かった年になりました。

◇各種大会での活躍

○福島県高校生ものづくりコン

テスト2013 旋盤作業部門第四位(二年一組遠藤弘斗君)○ワールドエコノムフ2014(大沼村)・総合三十五位、Jrクラス二十一位○全国電動カイト創作コンテスト2014(山形県庄内町)・Aチーム総合三位、Bチーム総合四位

○福島県高校生ロボット競技大会1台出場残念ながら予選敗退

○本田宗一郎杯ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会2013(高校生クラス206.808km、二人乗りクラスシントラブル)

◇各種イベントへの参加

○会津ブランドものづくりフェアへの参加・出展

○ポココン・あいづ2013への参加・協力

◇資格取得について
・機械製図検定試験、基礎製図検定試験、ボイラー二級国家試験、危険物取扱者試験、品質管理検定試験、パソコン利用技術検定試験、三級技能検

二先生で、担当教科は社会・学年主任になります。

昨年・平成25年度電気科の活動状況をお知らせいたします。

1. H25就職・進学について

就職希望者28名中、県外企業に16名、県内企業に12名の内定を頂きました。県内外から多くの求人を受けている結果であり、電気科卒業生ならびに同窓生の活躍が本校への求人に結びついている結果と感じております。

進学希望者11名中、4年生大学に3名、専門学校に7名、職業開発校に1名となっております。

2. H25発電所見学・工場見学

1年生 下郷発電所、大川ダム
2年生 下郷発電所、大川ダム
3年生 北芝電機株、テクノ

電気科では、高校在籍中に、火力発電所見学・水力発電所見学、工業見学を通して、見識を深めることにしております。昨年は、再生可能エネルギー事業内容の一つとして、水力発電所を重視いたしました。ご協力くださいました企業様に感謝いたします。

3. H25資格取得状況について

第2種電気工事士資格試験に、1年生26名、2・3年生9名の35名が合格しました。昨年末での電気工事第2種取得率は下記の通りになります。1年生・65・0%、2年生・



82・1%、3年生・94・8%
平成23年度より、電気工事における実践力を備えさせたいという思いから、4月より電気工事資格取得講座として、補習授業を行っております。入学時より資格取得への取り組みになりますが、高校生活3年間を見通して、学業に部活動に総合的に取り組むことのできる期間設定となりますので、今後とも推奨していく所存です。

結果が伴わない生徒には、卒業までに、クラス全員合格を目指すことで継続的に指導しております。温かい目でお守りください。

なお、上位資格である第1種電気工事士試験に4名の合格者を、3級技能検定電気機器組立シーケンス制御部門に、福島県内で本校のみの5名の合格者を輩出することができました。

4. コンテストおよび外部行事について

福島県高校生ものづくりコンテスト「電気工事部門」には2年生の代表生徒が参加いたしました。電気工事における基本に忠実な技術力で勝負しましたが、わずかに設定時間をオーバーする形で完成することになり、福島県大会を勝ち抜くことはできませんでした。

I

情報技術科

主任 菊地 壽雄

平成26年度は、本科の教員の異動はなく、前年同様の教員6名で担当しております。担任は1学年に小関裕一教諭が新たに委嘱され、2学年は石本智道教諭、3学年は佐藤みき(英語科)教諭が引き続きクラス経営にあたっております。現在、全学年で一十九名の生徒が本科に在籍しています。

本校情報技術科も設立されて四半世紀がすぎました。情報化社会の真只中で、常に新しい技術に注目しながら、基礎・基本をベースに社会の各分野で活躍できる人材の育成に取組んでおります。



地元企業の中で大きな柱であった半導体産業の最近における相次ぐ企業撤退は、生徒の進路状況に今後どのように影響するのか当初不安を感じていました。今年度に関しては、将来の就業人口減少の見通しがマスコミで叫ばれはじめ、最近ではめずらしく企業の求人状況が良かったように感じます。情報技術科の3年生も県内外で良好な結果を得ており、工業高校として就職率一〇〇％の維持は達成できたと考えています。

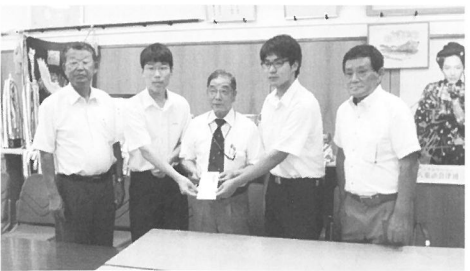
ともあれすべての分野で活用される情報技術は絶えず重要視されていくはず。各学年で学ぶ内容の厳選や技術指導の向上を図り、時代の変化に合わせた情報技術の幅広い知識を意欲しながら、基礎基本を大事にした教育を続けて行きたいと思っています。

近年は各種OSを活用した実習、またプログラミング力の鍛錬、Webコンテンツを企画構

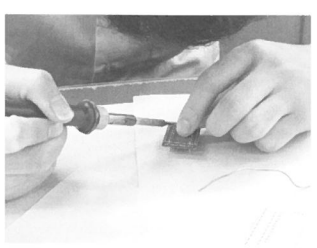
定(普通旋盤)など、専門分野の資格に多くの生徒が挑戦して、結果を残しています。その結果、ジュニアマイスター顕彰で表彰される生徒も多数でおります。

◇その他

・新実習棟が昨年十二月二十四日に竣工し、工作機械の移設も無事完了し、今年の1月下旬より新しい実習棟で授業が開始できるようになりました。以前の実習棟と比べて雲泥の差で、生徒も快適に授業



激励金贈呈式(校長室にて)



築する知識、各種マイコンを活用したコンピュータ制御技術など、1年から3年までの通した流れの中で実施しています。これらは各種回路の設計製作など電子技術や通信技術を含めた技能の向上となつて3年生の課題研究の中で発揮されています。生徒達は今年度も、課外活動や課題研究の活動を通して、各種検定や資格の取得に取組み、ジュニアマイスター顕彰の受賞や、各種コンテスト、コンクールへの挑戦で各賞を受賞するなど、多くの場面で力を出しております。

これからも教員一丸となつて、生徒自身の自己実現へ向けた取り組みを行なっていきたいと思います。

常日頃、同窓生の皆様からは暖かい励ましをいただいております。今後とも後輩へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆ものづくり大会などの取組

・パソコン甲子園
各部門 本戦出場
各部門 優勝・準優勝



を受けれるようになり喜んでおります。また、平面研削盤と立てフライス盤の2台が新しく入れ替わり、我々も大変喜んでおります。さらには、今年の八月に3Dプリンターが導入され、製図の授業や課題研究でフルに使用されております。

最後になりましたが、OBの皆様には、今後とも機械科に対して、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、毎年、同窓会機友会から機械研習部に対して激励金をご支援いただいていることに対しても厚く感謝申し上げます。

E

電気科

主任 井上 浩一

今春の人事異動により、昨年の電気科卒業担任でありました榎田古瀬先生が平工業高校へ転勤されました。後任として、佐久間智広先生が喜多方桐桜高校より着任され、電気科教員は6名であります。

担任の先生方を紹介します。1年担任が佐藤秀希先生で、担当教科は数学・若手の精鋭であります。2年担任は滝沢全先生で、担当教科は理科・学年主任であります。3年担任は清水裕

・ジャパンマイコンカーラリー
・高校生ものづくりコンテスト
・ロボコン・あいづ
・民家の甲子園 福島民友社賞
・IT夢コンテスト
実行委員長賞 関等賞
・観光甲子園 放送局長受賞
・電気通信工事担任者試験
・ITパスポート
・基本情報技術者
・情報技術検定
・パソコン利用技術検定

奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション ② 2014会工、鍛えの各部

陸上競技部

顧問 ◎山田 賢

◎滝沢 全

◎益子 茂

◎神田 美香

競技者として、判断力・決断力・実行力を身につけ、困難・挫折の中にあっても、一人ひとりが目標実現に向けてチャレンジできるよう前向きに取り組んでいる。また、常に感謝と協調性・思いやりを大切に活動している。



バドミントン部

顧問 ◎佐藤 秀希

◎井上 浩一

バドミントン部は、男子14名、女子1名の15名で活動しています。バドミントンを小学生から習っている生徒から、高校から始めた生徒まで経験年数が異なる生徒が混在していますが、部員全員で教え合い、励まし合って練習しています。技術向上はもちろん、挨拶などのマナーを重視して日々活動しています。



卓球部

顧問 ◎今川 吉晃

◎小林 憲司

卓球部は顧問の今川先生、小林先生のもと2年生3人、1年生6人の計9人で活動をしています。私たちは県大会でも戦っている強い選手になることを大きな目標とし、1人ひとり課題を持ち日々の練習に取り組んでいます。



野球部

顧問 ◎八巻 勤

◎小野 裕久

◎村山 彰一

◎鈴木 雅博

「練習は嘘をつかない」この言葉のもと、私たちは、己に矢印を向けて、弱さを克服し、自己表現を重んじ、常に新しい自分へ進化していけるように努力しています。

今後も精一杯をもって試合に取り組めます。ご声援よろしくお願いします。



サッカー部

顧問 ◎江本 城幸

◎高畑 利夫

◎高野美早紀

個人能力の高かった16名の3年生が引退し、2年生8名、1年生23名、マネージャー1名の計32名の部員になりました。11月8日から11日までの4日間で開催される新人戦地区大会優勝、そして県大会出場を目指して日々がんばっています。応援よろしくお願いします。



体操部

顧問 ◎加藤 義勝

◎佐藤 文康

◎根本 直樹

現在の部員数は、男子3年生2名、2年生3名、1年生3名で、女子部員（マネージャー）は3年生2名の合計10名で日々練習に取り組んでいます。

今年度の大会では、県高校大会男子個人・団体優勝、東北大会や全国大会に出場しました。今後は今年度の反省を生かして、技術面や精神面などのレベルアップを目指して、日々練習に取り組んでいきたいと思っています。



水泳部

顧問 ◎小沼 雄司

◎松田 有美

水泳部は、現在自分で計画的に練習し、好成績を残している

部員、スイミングスクールに所属せず部活動のみで努力している部員があり、過去の成績に負けないよう部員一人一人が練習に取り組んでいるので応援よろしく願います。



山岳部



バレーボール部

顧問 ◎鈴木 武

◎福島 広己

◎佐久間智広

バレーボール部は、男子が14名、女子が数名で活動しています。男女とも大会での勝利に向かって日々の練習に頑張っており、休日の日にはOBの方々に指導していただき大変お世話になっております。これから新人戦に向けて、人間力を磨き上位大会での活躍ができるよう努力していきたいと思えます。

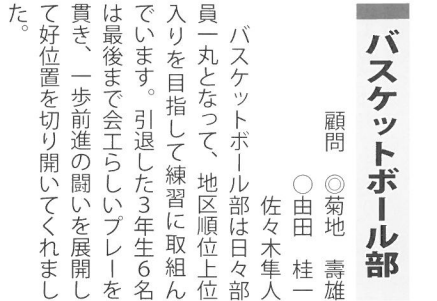


バスケットボール部

顧問 ◎菊地 壽雄

◎由田 桂一

バスケットボール部は日々部員一丸となって、地区順位上位を目指して練習に取り組んでいます。引退した3年生6名は最後まで会工らしいプレーを貫き、一歩前進の闘いを展開して好位置を切り開いてくれました。



硬式テニス部

顧問 ◎斎藤 正志

◎後藤 真央

テニス部は、現在2年生9名、1年生3名で活動しています。コートが学校にないため、運動公園や鶴ヶ城のテニスコートで練習をしています。練習場所の



ソフトテニス部

顧問 ◎渡邊 豊

◎星 由香

◎大久保 仁

今年度は、16名の新人部員を迎え、総勢30名となりました。個人・団体共に地区大会優勝を果たしました。県大会でも上位の成績を目標に、日々練習に取り組んでいます。



スキー部

顧問 ◎相原 正裕

◎茂木 利幸

スキー競技は、アルペン競技とジャンプ・ノルディック競技に大別されます。私たちは津工業高校スキー部では、現在アルペン（回転・大回転・スーパード回転・滑降）とクロスカントリー（距離）競技の選手が活動しています。

毎年11月下旬～4月下旬の約5ヶ月間に渡るスキーシーズンで、大会遠征・強化合宿など、全国各地のスキー場を転戦しながら頑張っています。

昨年2月に地元・猪苗代町で行われた全国高等学校スキー大会には、部員全員が県予選を通



過し、会津工業高校スキー部の名を全国にアピールすることが出来た。また、冬季国体や全国高校選抜スキー大会をはじめ、東北・全国の舞台に参戦していきま。

現在はアルペン2名・クロカン2名の部員ですが、夏に泣き、冬に笑う、を合言葉にオフシーズンのトレーニングに励み、各種大会の表彰台を目指して取り組んでいます。



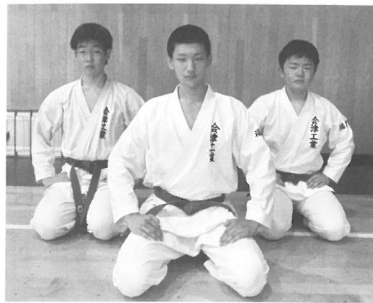
空手部

現在、2年生3人で活動しています。全員が高校入学後に空手を始めた初心者です。

そのような素人集団ですが、空手経験者の顧問の先生や、月に何度か高田の道場の先生に指導を受け成長し続けています。

顧問 ◎境 僚太
清水 裕二
高橋 弘光
村田 光夫

2年生だけの部活動ですが、3人で一丸となり、日々練習に励み、切磋琢磨しています。



剣道部

顧問 ◎吉田 孝明
田中 哲
長谷川 秀平



OB会各位には、島影会長をはじめ日頃より、ご支援頂きありがとうございます。また来年1月2日の総会および在校生との合同稽古会には、多数の参加のもと盛況に開催されますこと、ありがたく思っております。少人数の部員ながら、日々の稽古に汗を流しておりますので、今後ともご協力いただけるようよろしくお願いいたします。

柔道部

顧問 ◎阿部 友一
◎渡部 哲

本校柔道部は、創部94年と伝統のある部です。しかし、ここ数年は部員減により当時の活気が失われつつあります。平成26年度は、3年生1名、1年生2名の計3名で活動しています。少人数ではありますが、各自工



夫しながら練習に取り組み、インターハイ県大会出場等の実績を残すことが出来ました。現在は、3年生が引退し、1年生2名で活動しております。長い伝統を受け継ぎ、当時の活気を取り戻すべく、日々精進して良い結果をご報告出来るよう頑張ります。

弓道部

顧問 ◎黒澤 静子
◎佐藤 慶一



ネス会津ボクシングセンターで練習をさせてもらっています。日々の練習は放課後、基礎的なトレーニング・実践的なトレーニングを日替わり3時間程度、休日は基礎的・実践的なトレーニングを4時間実施しています。また、校内の合宿や県内・県外合宿も多く実施しています。今年度は神奈川県で開催されたインターハイには3年生2名・2年生1名の選手が参加しました。結果は3年生の1名がベスト8となりました。

また、第69回国民体育大会東北ブロック大会では、3年生2名・2年生1名が優勝し、『長崎がんばらんは国体』に3名が出場します。上位大会に参加することで、自分達の現在のレベルを知ることができ、次の目標を明確にすることができました。日々の練習では「練習ノート」

生活科学同好会

和洋中華何にでも挑戦します。最近では食事を作るころがコンビニでバランス良く選ぶことさえ出来ない人も多く中、献立をたて、買い物をして段取り良く調理をし、家族としても楽しく食



ボクシング部

顧問 ◎篠原 宏和
◎長谷 徹

今年度ボクシング部には3年生5名・2年生6名・1年生3名が活動をしています。活動場所は去年同様に学校の耐震工事の関係で若松市内にあるウエル



電気部

顧問 ◎中野 善司
◎鳴瀬 良



セラミック化学部

顧問 ◎村田 光夫
◎大濱 達明
◎熊田 志郎



IT研究部は毎日放課後に情報技術科実習室で活動をしています。最低1人1コンテストに出場し入賞を目指してがんばっています。今年度もいくつかの大会に出場し入賞しています。最近では特に各種ロボコン大会に出場し入賞すべくメンバーと協力し製作や開発をしています。また、IT系のボランティアとして生徒用パソコンのメンテナンスや実習環境の整備を行っています。

わに美術部による創作キャラクターをデザインした切り絵を施し、会津の元気を世界に向けて発信するプロジェクトです。会津稽古堂に記念撮影可能な巨大うちわを展示し、アネッサクラブさんの強力を得て中心商店街のショーウィンドーに小うちわ十数枚を展示します。会津若松市の「市政だより」10月号でも、美術部の取り組みは紹介されています。多くの方々のご来場をお待ちしております。

演劇部

顧問 ◎石田由紀子
◎増子 美樹
◎内藤美恵子

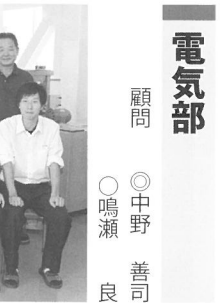
男子10人で活動しています。昨年度は県大会で優勝し、東北大会出場を果たしました。今年度も東北大会出場を目指して頑張っています。



建築インテリア部

顧問 ◎長谷 徹
◎高橋 弘光

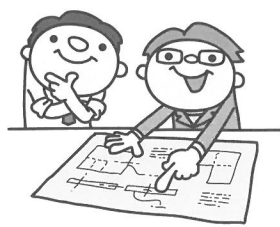
ができます。ゆるい活動に見えますが生活力のつく同好会です。親元を離れても自活できますと切り切り県外就職を切り切った男子もいます。クリスマスのワンホールケーキも今から楽しみです。



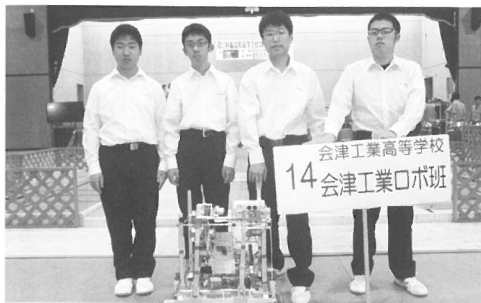
機械研修部

顧問 ◎高橋 浩二
◎大竹 良宣
◎鈴木 雅博
◎山田 賢
◎茂木 利幸

平成26年度ものづくりマイスター制度を利用し高度熟練指導者から1年生から3年生までの24名が、技術的な指導や道具の安全な使い方や手入れの方法について直接指導を受けています。



◆カートの活動 私たちの部活動は、5月連休にワールドエコノムープ（電気自動車・秋田県大湯村）に始まり、7月下旬には全国電動カート創作コンテスト（電気自動車・山形県庄内町）、9月下旬の本田宗一郎杯エコマイレージチャレンジ全国大会（ガソリン50ccエンジン・栃木県茂木町）の自作自動車省燃費競技大会に出場し応援宜しくお願い致します。



IT研究部

顧問 ◎石本 智道
◎山本 義文



美術部

顧問 ◎丸山 弘樹
◎岩淵 浩之

美術部はこの秋、会津若松市主催の「アートイベント」『まちなかアートフェスティバル2014』に参加します。『うるわし☆あらみちゃん』『会津応援！大うちわプロジェクト』と名付け、大小のうち



39 | 会工同窓会報No.39
'14(平成26)総会号

平成25年度同窓会活動協力金賛同者名簿

募金総額162万8640円 765件

[illegible]

青赤荒猪石稻稻榎小北久熊小郡後小齋白十二鈴瀨東遠根平古保松本湯渡渡梨小橫押吉
 津城川狩山生田本田黑島原家田司林藤藤岩所木倉瀨山本山河畑志田井田部辺本林子田山
 邦登孝正雅恒和一憲賢健武紘清就宗孝重文正良克正喜一岩盛義信次文良
 男淳男一夫傑宏昭弥丘毅吉男治実作彦一助吉紀一幸夫修孝治士三一人雄夫則一夫江一直

T T

小 鈴 渡 中 鶴 真 佐 山 梅 村 福 林 佐 遠 小 浅 加 荒 蟋 岡 石 藤 真 関 岸 平 鈴 金 江 吉 多 古 蓮 山 相 田 新 武 黒
平 木 部 島 卷 木 内 津 岡 田 藤 藤 坂 沼 藤 川 川 崎 田 沼 壁 山 木 子 川 野 田 川 沼 口 田 崎 田 田 川
寛 吉 秀 正 君 義 憲 勉 輝 弘 敏 素 光 君 英 高 嘉 一 隆 力 正 一 弘 治 信
俊 満 正 忠 和 雄 博 三 行 喜 司 昭 秋 弘 栄 登 雄 勉 大 司 志 典 毅 馬 一 充 夫 八 尊 守 武 実 卓 誠 夫 平 夫 孝 尚

[illegible]

松本 小林 吉田 芳賀 山田 大八 長尾 諸橋 岩淵 田崎 影山 角田 鷗川 保志 七海 宮野 片桐 安部 秋藤 齊藤 戸田 渡部 星口 樋口 石橋 小菅 高橋 山崎 芳賀 佐藤 大塚 荻野 星野 一ノ瀬 白井 福原 五十嵐 岩橋

喜貞 治之 裕博 雄章 好明 弘浩 忠文 五郎 文郎 昭一郎 龜次 義弘 進雄 常雄 貞二 節男 弘男 馨弘 好馨 博之 英實 淳洋 圭雄 隆宏 省次 敏夫 春男 充男 久雄 すみえ

[illegible]

大 小 新 佐 佐 歌 村 五 大 鈴 島 石 中 板 渡 山 室 鈴 生 安 渡 宮 岸 鳥 吉 渡 渡 金 古 斎 小 大 山 芳 堀 加 石 渡 武
波 澤 田 藤 藤 川 上 嵐 塚 木 影 井 島 橋 辺 田 井 木 沼 積 部 崎 居 田 部 部 作 川 藤 椋 竹 内 賀 山 藤 井 部 藤
三 昭 芳 新 重 雄 利 孝 久 博 正 榮 正 利 藤 幸 昭 一 健 節 禎 哲 信 洋 隆 秀 實 則 昭
男 次 裕 之 市 義 謙 浩 造 雄 敬 夫 範 勉 夫 一 男 圀 正 吾 稔 男 吾 隆 榮 司 夫 典 矢 也 一 誠 夫 勉 樹 男 昇 一 夫

[illegible]

渡山波代石若玉鈴渡二渡神渡山辺鈴佐斎荒成佐小加大五十浅渡佐坂二佐斎国岸五十山古福千
 部田野島井狹川木部瓶辺林部田見木藤藤井田藤池藤竹嵐沼部藤内瓶々木藤井貞宗滿次征貞喜八
 長利謙行良春和孝武正又芳伸輝正友四志男郎明主夫次正夫雄于朗男利賢司義男男男一義郎
 作廣次昭範生男雄司人雄宏夫作夫秋信

[illegible]

渡田田鈴五星半桑戸鈴荒小小大古佐千村伊國小菊渡濱佐三秦平酒佐大佐遠細園赤後片五十
辺中村木嵐澤原部木川山檜山竹見藤葉澤藤分沼地部津藤原出井藤竹竹藤堀和井藤平
利康秀勝武邦治光秀四五孝正武俊次周敏修信正辰紀顯
巳正誠夫豊久啓義彦男嘉敏之明友男薫洋行明久臣一郎春男一昇夫勤正弘越也清義徹寛二

[illegible]

宇南 栗城 大杉 田原 荒川 渡部 三国 古田 中村 佐藤 木村 小川 五十嵐 石橋 渡邊 須ヶ間 齋藤 橋谷 坂内 菊地 渡部 田中 森田 西田 中田 藤田 西田 佐藤 竹内 成田 細田 堀場 井上 渡部 秋山 大橋 小嶋 小林 宇南 栗城 大杉 田原 荒川 渡部 三国 古田 中村 佐藤 木村 小川 五十嵐 石橋 渡邊 須ヶ間 齋藤 橋谷 坂内 菊地 渡部 田中 森田 西田 中田 藤田 西田 佐藤 竹内 成田 細田 堀場 井上 渡部 秋山 大橋 小嶋 小林

[illegible]

西 佐 鈴 渡 大 渡 星 武 荒 千 西 手 平 武 高 山 栢 星 清 鈴 佐 佐 管 田 中 皆 高 鈴 石 石 小 橫 大 渡 渡 渡 齋 難
 山 村 野 木 部 原 部 藤 明 葉 川 木 代 宮 藤 橋 浦 森 野 木 藤 瀬 家 中 山 川 橋 木 川 黑 板 橋 川 木 部 部 部 藤 波
 一 常 安 藤 史 一 行 正 公 清 德 健 和 國 幸 吉 健 和 一 忠 秋 寿 勝 国 恵 進 勝 信 牧 重 哲 寛 伸 秀
 忠 夫 雄 郎 雄 郎 雄 郎 雄 郎 榮 義 胤 次 夫 司 亨 男 男 雄 武 男 義 彦 信 平 広 一 治 雄 悦 郎 彦 正 雄 広 三 郎 矢 也 則

[illegible]

渡佐永野阿熊浅中内田日長鹿藤星二石細岩長大菊武阿根堀星大棚松成渡川五十野大大小鈴
部藤峯中部坂田村川中下谷目田瓶川野上川越地藤部本淹木田部保風口竹堀山木
隆定喜代寿武芳喜義健幸与忠晴秀嘉善敏利俊靖良幸龍一雅芳武誠昭喜久邦英信孝敬
一寿江勝朗延誠男則一雄一明史明人一充信道彦三正吉雄宏雄勝夫一良寿男雄雄義雄昇助

[illegible]

三梅小山田五佐笠信須石長堀澤金羽渡小伊遠鈴渡遠諏菊皆鈴渡栗葉小角芳小猪猪皆後小
瓶宮山口中嵐藤間野藤原嶺井里子入部林東藤木部藤訪地川木部木室林田賀熊俣卷川藤林
紀源一祥昭健忠利章清勝昌辰次兵惠和和壽真和俊康常卓利祥喜啓
行昭昭男一夫一英昭夫男勲治人輝嘉夫清正貢千子良哉雄讓也広昭忠世満博輝也憲史宏二

[illegible]

三井	山岸	阿部	鈴木	鈴木	神田	目黒	内芝	河野	渡部	白井	佐藤	菅家	藍沢	長谷川	橋本	芳賀	鈴木	鈴木	平屋	鈴木	五十嵐	江川	阿部
正	正		新	吉	秀雄	武男	正人	良吉	政行	秀一	慶満	弘幸	芳和	孝一	裕一郎	拓海	春男	敬裕	純	恭弘	健太郎		

事業所会工同窓会
 田代電力所会工同窓会
 工同密会
 工OB会
 員会工OB会

三井 山岸 正
 阿部 鈴木 新
 鈴木 吉
 神田 秀雄
 目黒 武男
 内芝 正人
 河野 良吉
 渡部 政行
 白井 秀一
 佐藤 慶満
 菅家 弘幸
 藍沢 芳和
 長谷川 孝一
 橋本 裕一郎
 芳賀 拓海
 鈴木 春男
 鈴木 敬裕
 五十嵐 純
 江川 恭弘
 阿部 健太郎

昭昭昭昭昭昭昭昭平平平平平平平昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
21 20 19 19 18 17 17 17 17 22 10 9 7 7 6 3 62 62 61 57 56 55 51 50 49 49 48 48 48 47 46 44 43 43 43 42 42 41 41
M
③ ② ② ② ② ② ② ② ②

金五玉小長渡二佐大谷栗佐物中真弦佐西金星西渡小飯小遠芳五五佐斎三渡菊荒渡佐吉星
十代谷田風水野川部瓶藤沢部城藤江山壁弓藤潟田 田部山塚林藤賀嵐嵐竹藤国部川川部藤野

五 一文安中晃俊大光正孝大一芳 俊弘優守 竜吉昌正 恒直鉄修 富泰義
寛敬郎敬真恒吉雄郎平彦輔昭樹広祐雄則清幸一生夫功二秋隆義強男彦雄悦誠雄夫之悟久

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
28 28 28 28 28 28 28 28 28 28 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 26 26 26 26 53 51 51 48 47 47 45 42 42 41 40 40 40 40
E F F F F F F F F F F F F F F F F F F F

長西手玉高冠大大江石星笠田田清鈴鈴佐佐小鹿平中佐管五鷺大石石小横渡小渡綿本佐佐
谷川川代川橋木友原川 原村中野木木藤瀬沼目塚川瀬家嵐尾越黒田橋川部山部引間藤藤

久清徳惟和忠昭昌 久 高万儀吉健建 和利 文磐一忠英幸康勝文信牧重博 武孝
雄次夫正男之郎之仁郎武雄司一男義雄実彦光弘雄夫信平俊夫二彦人正雄三文弘重男基彪

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
33 33 33 32 32 32 32 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 31 30 30 30 30 30 30 29 29 29 29 29 29 29 28 28 28 28 28
E E

金大五渡武古小渡渡古古西高鈴鈴鈴佐佐小加磯湯二中川武荒渡渡坂永千高酒湯山武平馬
子竹嵐部藤川山部部川川村橋木木木野藤山藤谷田瓶村島藤明辺部内嶺葉橋井田浦藤宮場

豊信邦光 正藤喜一一政安敬昭常光 孝勝正 伊良 正 公敏敏道国 健稔
明義雄二剛知昇義雄男敏夫利郎助雄雄一忠雄昭徳修夫夫栄義平弘寿繁胤夫喜夫男亨司雄

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
37 37 37 37 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 35 35 35 35 35 35 35 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 33
E E

大大猪阿弓森堀堀星徳栗菅大棚荒渡松福野高柏及安渡山宮星林長佐斎小川門吉古長菅川
矢島股部田 田城沼滝木井部田島口橋木川藤部内城 澤木藤池俣脇川川川家口

洋 角龍勝 雅一芳真隆淳 武 真誠 正均 誠昭昭 久与和精和茂光喜紀 光正庸和
三誠次吉美昶宏清雄一彦一勝夫修勇一弘夫文宏二助寿清雄郎伸郎郎也男男雄豊昭満也雄

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
51 50 50 49 48 47 45 44 44 43 43 43 42 42 41 41 41 41 41 40 40 40 40 40 40 40 39 39 39 39 39 39 39 38 38 37 37 37
E E

佐野豊大緒関皆立佐渡越浅田鈴村日菅荒山星藤長鹿小大細長二高佐佐岩石平青室星星桑
木中島越方口川川藤部前田中木尾下家井内 田川目沢竹野川瓶木藤藤上川野木井 名

昌寿洋春義安敏隆康幸重 健 伊幸正正明秀晴与忠幸正敏俊嘉秀敏 利善善 重 和英
人勝郎喜信廣幸勇雄雄親誠一稔之雄伸喜生明史一明雄則充道人男雄徹信一勝功正実雄正

昭昭昭昭昭平平平平平平平昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭平平平昭昭昭
26 26 25 24 24 15 5 8 8 6 5 4 3 62 60 55 50 49 48 47 47 46 45 45 45 43 43 42 42 42 41 41 40 22 21 13 58 57 51
A A A A A J J D E E E E E E E E E E

樋佐坂竹鈴小島佐酒小石渡松渡遠宮永安鈴福影渡鈴白栗渡浅渡船小栗石芳川坂本横渡目
山藤内島木林脇藤井山田部島部藤森山西木寺山部木岩木辺井部田林城本賀瀬内名田部黒

六行兵 信洋香郁史哲賢由幸将栄孝博一良 真哲俊利秀芳不康佐光 翔俊雄 洋
剛実郎雄三智高平一朗典哉一美治之樹男文元智伸也夫昭美人雄男世夫男博太介一仁則明

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭平平平平平平昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
25 25 25 25 25 24 24 24 23 23 22 22 21 20 20 20 18 18 17 17 15 14 17 16 8 5 3 元 63 58 55 54 54 54 53 52 50 48 44
C F F F K K K K K K K K K K K K K K K

金笠小泉青佐左山齊秋満日佐長川大小安林小小小斎渡上原猪安大箭大藤佐薄五森木佐岩
子間沼田山藤雨内藤山田向藤嶺田竹林部 滝川林藤部田 俣子竹内濱原竹 嵐 村木沢

守龍一和清和六順浩 政弘 幸七春久良彦彰修洋祐篤正秀兼啓健達忠伸政雄総洋昭敏
孝郎彦男男男郎夫平勇巨光実温雄郎洋喜夫市一一輝平志博昭司一男明善也己一郎一夫喜

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
35 35 35 35 35 34 34 33 32 32 32 31 31 31 31 31 31 30 29 29 29 29 28 28 28 28 28 28 27 27 27 27 26 26 25 25 25 25
C C

渡長五古佐三小高高石五佐斎大大秋秋渡藤坂安吾谷千佐佐片井会渡渡宗佐鈴大山松谷早
谷十部川嵐沢藤澤山畑倉井嵐藤藤堀竹山山辺沢本西妻沢葉藤木岡関田部部像竹木島内田川山

元 徳喜 忠国紀 広知重泰 文 利 由重正孝信克庄 善 政英忠健重幸隆和秀信
久剛昌治誠典雄雄登道雄昭昭豊夫博光守一須衛二哉男寿弘一譲信敏義治男彦一夫雄郎賢

平平昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
21 10 59 53 53 52 52 49 49 49 49 48 48 46 45 44 44 43 43 42 42 41 41 41 41 41 49 45 42 42 41 40 39 39 39 39 37 36 36 36
C C C C C C C G C C C C C C C C C C C C C C C C

芥高佐中鷯石川山岩斎小木大古五長大渡松吉金山古中須小古竹滝笠斎吉加小石佐渡櫻小
川橋藤島川橋嶋野崎藤島村塚川嵐崎竹部川原田田川島藤林川田沢井藤田藤川田藤部田林

泰 正正広利静 恵憲牧隆久一誠敏正俊正秀五民春政繁 哲勇義久善久常 敏 俊
久豊道人記章雄敏造郎男夫男夫幸秀二一信司郎雄樹彦雄栄弘一市吾信雄夫陽昇武晴武雄

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
26 26 26 26 26 26 26 26 25 25 25 25 25 25 25 25 25 25 24 24 24 23 23 22 21 20 20 20 20 18 18 18 18 18 17 17 17 16
M M

秩鈴三木五五五藍渡渡水二紺菅菅小小大土小海木窪半島福西小川国星星佐安天中五赤秋
父木瓶村子嵐嵐沢部部野瓶野野家川東竹屋柴名村田澤山島湯林口分野 藤田野島嵐城山

安 英慧芳與吉 公靖宗利 祥謙倭久俊文璋 輝 正浩 恒榮利久寅 五
清信實孝茂雄夫延作郎晋平二和夫滋喬吉章治雄男二浩男隆二郎洪昭雄祐光夫雄敏睦清郎

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
35 34 34 34 34 34 34 33 33 33 33 32 32 32 32 32 31 31 31 31 31 31 31 31 30 30 30 30 30 30 29 29 29 29 28 28 28 27 27 27
M M

五関小大遠江安山星後荒山長芳藤五山田白菊神小渡吉福曾佐斎福佐小菊大関佐斎舟佐橋
十嵐和林森藤川西田 藤川口川賀原嵐田中井地田野部田地根瀬藤島藤邊地竹口藤藤田藤本

功 光秀 誠正次和 正了泰正孝顕太善邦 信 三 一光 四 恒勝忠 昭文
平清喜一越二敏雄夫徹人二介明雄二蔵之男正之明満男勝臣輝秀潔武一勲也枝夫力夫夫修

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭
41 41 41 41 41 40 40 40 40 40 40 40 39 39 39 39 38 38 38 38 38 38 38 37 37 37 37 37 36 36 36 36 36 35 35 35 35 35 35
M M

星田鈴栗尾渡室三戸鈴大大古佐大牛渡高兼佐國菊伊濱佐近小大山中中佐小平秦鈴佐酒大
村木城崎部井橋部木竹竹見藤竹木部橋子藤分地藤津木藤林竹崎村村藤山出 木藤井竹

康 秀和一健鉄 武邦 弘四光秀 俊雄宏五正武孝次志一満洲忠勝雅健周光 修孝 信
生誠夫夫憲治司司彦男隆一友知明動一次之男明臣行朗男郎男好司之三春之昇一司勤夫正

地 区	役 職	名 前	卒業年
東 京	会 長	田 中 健 一	4 2 E
	副 会 長	堀 雅 宏	3 6 E
	//	伊 藤 孝 行	3 8 M
	幹 事 長	戸野部 武 彦	4 0 M
	副 幹 事 長	石 綿 弘	3 4 T
	//	芳 賀 勝	3 5 L
	//	水 勉	4 6 M
	//	中 島 政 彦	4 1 G
	会 計 幹 事	鈴 木 邦 男	4 0 M
	//	内 川 義 則	4 3 F
	//	辺 見 輝 夫	3 4 K
	//	渡 部 雅 彦	4 4 M
	常 任 幹 事	猪 俣 和 男	4 1 T
	//	五十嵐 清 三	3 3 K
	//	渡 部 満	3 6 K
	//	齋 藤 博 正	3 7 K
	//	石 本 清 八	3 9 K
	//	高 木 博 康	4 4 K
	//	山 田 利 廣	4 5 K
	//	秋 山 利 光	3 1 C
	//	伊 藤 龍 忠	3 6 A
	//	葉 橋 順 一	4 4 D
	//	坂 本 栄 吉	4 0 D
	//	杉 山 正 行	4 0 A
	//	内 芝 良 吉	4 6 A
	東 海	相 談 役	佐 瀬 一 信
顧 問		中 村 伊 佐 夫	3 0 E
//		羽 生 辰 喜	3 1 A
//		鈴 木 力 夫	3 1 T
//		平 山 充	3 1 T
//		星 芳 雄	3 6 E
名 誉 会 長		笠 間 忠 英	3 5 A
会 長		浅 沼 定 雄	3 3 K
副 会 長		三 井 正 春	4 1 A
//		遠 藤 素 弘	3 5 T
//		山 内 憲 三	3 6 T
//		大 竹 憲 市	3 7 A
//		古 川 春 樹	4 1 C
幹 事 長		早 川 茂	4 5 A
副 幹 事 長		渡 辺 雄 三	4 4 M
//		佐 藤 勝 美	5 6 M
//		安 部 琢 美	5 8 A
会 計 幹 事 長		五十嵐 勉	4 8 M
会 計 幹 事		白 石 元 隆	4 2 E
//		折 笠 不 二 夫	4 2 E
//		中 村 訓	4 5 M
会 計 監 査		森 俊 夫	3 5 T
//		佐 藤 亘	4 1 K
書 記		村 山 幹 夫	4 1 M
//		大 野 範 章	4 3 T
常 任 幹 事		平 栗 民 男	3 0 K
//		渡 辺 守	3 0 C
//		星 野 勝	3 1 T
//		福 地 貞 義	3 1 K
//		浅 沼 美 幸	3 2 T
近 畿	名 誉 会 長	渡 辺 藤 雄	3 1 E
	相 談 役	長谷川 雅 之	2 6 C
	会 長	大 竹 文 夫	3 1 C
	副 会 長	石 川 善 一	3 9 E
	//	遠 藤 進 朗	4 1 K
	事 務 局 長	本 名 雄 一	H13 E
	会 計 監 査	安 達 ヨ 子	3 5 K
	//	眞 田 雄	3 7 T
	常 任 理 事	荒 井 栄 吉	3 1 T

地 区	役 職	名 前	卒業年
近 畿	〃	小林 清 治	4 3 T
	〃	細 堀 辰 也	3 4 M
	〃	黒 川 尚 三	2 3 T
	〃	近 藤 芳 弘	2 9 C
	〃	秋 山 善 彦	3 3 K
	〃	信 野 昭 彦	3 5 A
	〃	酒 井 衛 三	3 9 A
	〃	大 島 芳 隆	3 6 C
若 松	顧 問	吉 田 一 栄	2 0 K
	〃	坂 内 茂 男	3 2 K
	〃	若 狭 春 生	3 8 K
	〃	藤 田 晴 史	4 0 E
	会 長	山 岸 清 一	4 1 A
	副 会 長	渡 部 洋 子	3 2 K
	〃	棚 木 武 夫	3 6 E
	〃	小 山 源 昭	3 8 A
	〃	栗 城 和 夫	4 1 M
	〃	曾 根 賢 治	3 6 L
	〃	渡 部 昭 寿	3 4 E
	幹 事 長	浅 田 誠 一	4 3 E
	常 任 幹 事	小 林 清 治	2 8 A
	〃	佐久間 芳 雄	3 2 A
	〃	佐 藤 松 夫	3 3 K
	〃	関 場 一 宏	3 3 K
	〃	田 中 祥 一	3 6 A
	〃	佐 藤 義 之	4 2 M
	〃	荒 川 富士雄	4 3 M
	〃	二 瓶 正 人	3 7 K
	幹 事	小 沼 岑 生	2 9 E
	〃	斎 藤 四志男	3 4 K
	〃	箭 田 義 秋	3 9 A
	〃	近 藤 信 行	4 0 E
	〃	河 野 政 昭	4 3 A
	〃	白 井 武 男	4 5 A
	〃	風 間 誠 一	4 6 E
	〃	坂 内 美佐子	5 0 C
	〃	菅 原 正 晴	5 1 A
	〃	田 勢 光 夫	5 1 A
	〃	菊 地 登貴雄	5 2 M
	〃	渡 部 優 生	5 5 M
	〃	藍 澤 弘 幸	5 8 A
	庶 務	渡 部 恵千子	H06D
	会 計	鈴 木 武 義	H12A
	監 事	荒 明 正 義	3 0 E
	〃	荒 藤 昭 男	3 5 T
郡 山	顧 問	荒 井 寛 一	1 8 T
	会 長	金 田 久 寛	2 1 M
	副 会 長	安 田 久 夫	1 8 M
	〃	渡 部 節 夫	1 6 K
	幹 事 長	藤 沼 嘉 典	3 2 T
	会 計	佐 藤 亨 三	3 8 C
	事 務 局 長	菊 井 徹 哉	5 8 D
	〃	津 田 進 一	2 9 K
	幹 事	泉 田 和 清	2 5 C
	〃	天 井 清 二	2 6 C
	〃	斎 藤 宣 雄	3 2 C
	〃	玉 木 一 彦	3 8 T
福 島	〃	渡 辺 寛 二	3 8 C
	〃	小 柴 久 治	2 4 M
	〃	福 地 勝 一	3 0 M
	顧 問	星 栄 祐 一	1 8 M
	〃	二 瓶 嘉 武	3 9 E
	会 長	星 野 敏 充	2 7 E
	副 会 長	細 野 敏 充	3 9 E
	幹 事 長	星 秀 明	4 0 E

地 区	役 職	名 前	卒 業 年
福 島	会 計 局 長	星 秀 明	40 E
	事 務 幹 事	神 田 信	31 M
	常 任 幹 事	佐 藤 俊	27 E
	〃	小 柴 敏	34 C
坂 下	〃	細 野 充	39 E
	顧問	佐 藤 政 利	24 L
	〃	江 川 正 一	26 E
	〃	大 堀 順 一	27 C
	会 長	五十嵐 一 夫	43 A
	副 会 長	佐 藤 寛	26 A
	〃	伊 藤 隆	29 A
	〃	佐 藤 悦 朗	32 K
	〃	高 久 俊 昭	35 A
	幹 事 長	梨子本 裕	41 K
	副 幹 事 長	飯 塚 傑	52 T
	幹 事	武 藤 寛	45 C
	〃	安 藤 信 之	49 D
	〃	甲 斐 光 威	49 A
	〃	北 島 義 喜	52 C
	〃	五十嵐 克 博	52 M
	〃	鈴 木 美 保	60 A
	〃	長 峯 秀 之	H06 E
	〃	田 中 智 徳	H06 E
	猪 苗 代	監 査	北 島 義 喜
〃		中 島 和 一	51 K
庶 務 会 計		梨子本 傑	41 K
〃		鈴 木 美 保	60 A
顧問		菅 沼 淳 一	36 E
会 長		山 口 一 男	37 A
副 会 長		鈴 木 輝 男	31 L
〃		江 花 俊 和	37 T
事 務 局 長		江 花 祥 雄	49 G
事 務 局 次 長		吉 田 聡	52 A
西 会 津	幹 事 長	長谷川 与 一	40 E
	庶 務	小 桧 山 麻 勲	49 A
	会 計	斎 藤 憲 郎	49 G
	監 査	五十嵐 正義	48 M
	〃	古 川 正 一	48 T
	顧問	山 本 幸 助	27 T
	会 長	鈴 本 仁	21 M
	副 会 長	小 柴 龍 夫	33 M
	事 務 局 長	飯 沢 義 広	31 M
	湯 川	会 長	菅 沼 章 生
副 会 長		佐 野 常 雄	31 E
幹 事 長		佐 野 康 雄	31 E
会 津 美 里	計 画	星 野 康 夫	41 M
	顧問	横 山 嘉 夫	26 M
	〃	高 羽 芳 満	20 K
	〃	渡 部 敬 守	30 K
	会 長	栗 木 俊 昭	45 D
	副 会 長	松 本 誠 一	39 K
	幹 事 長	荒 井 誠 彦	49 A
	幹 事	水 野 俊 彦	39 K
	〃	平 野 光 彦	40 G
	〃	野 中 寿 勝	50 E
い わ き	会 計 事	兼 子 徳 嗣	31 A
	監 事	木 村 俊 一	48 K
	〃	大 河 原 昌 之	28 E
	〃	上 野 哲 昭	28 A
	〃	佐 野 容 昭	32 E
い わ き	幹 事 長 計	梅 宮 昭 三	39 A
	〃	矢 沢 行 恵	34 A
	〃	佐々木 志津雄	37 M
	監 事	安 部 雅 信	37 L
	〃	佐々木 富 市	45 A

[illegible]

齋小五本星田早滝佐笠遠五堀星長須大小金小飯柳羽成小大渡渡鈴鈴渡舟杉小上本真
藤林林嵐間中川沢藤間藤嵐井峰藤竹林子成棕沢川入田林塚部部木木部木本林野名鍋
紘伸勝德公幸祥健忠長昭清正利敏昌裕義建武辰容道次榮次千幸
征行夫行明一一徹勇司英郎夫治榮勲夫治孝輝喜昂一久嘉求夫勇充司利清夫市雄清哲之意

[illegible]

藍山佐菊鈴伊田白遠家皆石荒渡坂渡河山三内鈴佐神石野鈴富山山三星阿二高梅三梅山齋
澤内藤地木藤勢井藤田川本井部内辺野口浦芝木木田川村木田西岸井部瓶橋宮瓶宮口藤
弘和 和 哲光 一榮国俊誠幸寿榮政良政良吉富秀誠光新孝美 正 善和久紀 一弘
幸俊滿彦昭也夫勤男一雄光一夫勝男行一憲吉雄市雄一男吉市次清春武滉正寛弘行昭男之



ご協力ありがとうございました
来年もよろしく
お願い致します

昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭昭平平平平平平昭昭昭昭昭昭昭
444335333131302323494746195544262616160595958
分分分分分分分併併デデデKAAAA A A A A A A A A A A
KKKKKKKKMMCC

中二星山岩伊平古藤和武村青鈴齋中橋渡波遠鈴君磯安
村瓶口田藤栗川田泉藤井木木藤山本部部藤木島川部
勝一竹武民英健信広秀香代子秀惠正美正敏琢
勇秀雄美光正男美洋司寛義昇一樹晋稔一一保彦郎美

地 区	役 職	名 前	卒業年
い わ き	幹 事	鈴 木 孝 司	3 5 M
	//	金 子 徳 吾	3 6 M
	//	大 竹 忠 好	3 7 M
建 友 会	顧 問	青 山 昭 一	2 8 A
	相 談 役	川 崎 正 二	2 4 A
	//	佐久間 雄	3 2 A
	//	石 原 章 男	3 3 A
	会 長	小 山 源 昭	3 8 A
	副 会 長	小 山 岸 清	4 1 A
	//	弓 田 義 秋	3 9 A
	//	梅 宮 久 広	4 0 A
	//	白 井 武 男	4 5 A
	事 務 局 長	河 野 政 昭	4 3 A
	副 事 務 局 長	細 木 博 一	4 4 A
	//	鈴 木 秀 一	5 4 A
	会 計	菅 原 正 晴	5 1 A
	副 会 計	菊 田 和 彦	5 5 A
	監 事	玉 川 敏 彦	4 8 A
	//	田 勢 光 夫	5 1 A
会 友 会	顧 問	栢 森 幸 雄	2 7 E
	//	手代木 徳 夫	2 8 E
	//	山 口 健 一	2 9 E
	//	荒 明 正 義	3 0 E
	//	西 村 一 夫	3 1 E
	//	根 本 一 雄	3 6 E
	//	棚 木 武 夫	3 6 E
	会 長	菊 地 良 三	3 7 E
	副 会 長	佐 野 常 雄	3 1 E
	//	渡 部 昭 良	3 4 E
	//	成 田 寿 良	3 5 E

地 区	役 職	名 前	卒 業 年
会 友 会 電 友 会	監 事	栗 城 隆 彦	3 6 E
	〃	長谷川 与 一	4 0 E
	会 計	近 藤 信 行	4 0 E
	庶 務	鹿 目 忠 明	4 0 E
	事 務 局 長	白 井 達 夫	4 3 E
	理 事	星 行 雄	3 0 E
	〃	大 越 一 郎	3 5 A
	〃	中 丸 茂 由	3 7 E
	〃	藤 田 晴 史	4 0 E
	〃	菊 地 進	4 7 E
機 友 会 友 会	顧 問	片 平 寛	3 2 M
	会 長	栗 城 和 夫	4 1 M
	副 会 長	佐 藤 義 之	4 2 M
	〃	渡 部 重 三	4 2 F
	会 計 監 査	渡 部 優 生	5 5 M
	〃	鴫 巢 幸 江	5 8 M
	幹 事 長	菊 地 登 貴 雄	5 2 M
	常 任 幹 事	本 宮 淳 一	3 2 M
	〃	平 山 恒 雄	3 3 M
	〃	横 川 牧 雄	4 5 F
	〃	武 田 芳 仁	4 7 M
	会 計	荒 川 富 士 雄	4 3 M
	事 務 局 長	森 田 哲 郎	5 5 M
	事 務 局	玉 川 誠	4 7 M
	〃	渡 部 哲	5 2 M
	〃	鴫 巢 幸 江	5 8 M
セ ラ 友 会	名 誉 顧 問	吉 田 一 栄	2 0 K
	〃	坂 内 茂 男	3 2 K
	〃	坂 場 恒 雄	3 4 K
	顧 問	高 岡 芳 満	2 0 K

地 区	役 職	名 前	卒 業 年
セ ラ 友 会	〃	橋 本 英 雄	2 1 K
	〃	石 井 久 夫	2 9 K
	〃	津 田 進	2 9 K
	〃	佐 藤 松 夫	3 3 K
	〃	齋 藤 四志男	3 4 K
	会 長	渡 部 洋 子	3 2 K
	副 会 長	佐 藤 悦 朗	3 2 K
	〃	関 場 一 宏	3 3 K
	〃	浅 沼 定 雄	3 3 K
	〃	荒 井 士 郎	3 4 K
	幹 事 長	二 瓶 正 人	3 7 K
	副 幹 事 長	齋 藤 孝 敬	3 2 K
	会 計	島 影 孝 敬	2 9 K
	〃	梨 子 本 傑	4 1 K
	監 事	板 垣 正 宏	3 5 K
	〃	岩 澤 伸 夫	4 1 K
	事 務 局 長	梨 子 本 傑	4 1 K
事 務 局	大 濱 達 明	5 5 K	
会 工 会 美 修 工 会	顧 問	片 桐 進 一	3 1 L
	〃	江 花 光 泰	3 1 L
	〃	白 井 井 充	4 2 L
	会 長	曾 根 賢 治	3 6 L
	副 会 長	儀 同 哲 夫	4 1 L
	〃	佐 藤 勉	5 5 L
	会 計	坂 内 憲 勝	5 1 L
	〃	岩 淵 浩 之	5 4 L
	幹 事 長	星 田 敏 夫	4 1 L
	事 務 局	渡 部 孝 雄	4 1 L

(平成26年10月現在)

会工同窓会本部役員

平成26年10月現在

顧問	吉田一栄 20 K 本部選出
会長	若狭春生 38 K 本部選出
筆頭副会長	藤田晴史 40 E 本部選出
副会長	田中健一 42 E 東京会工会会長
幹事長	栗城和夫 41 M 機友会会長
副幹事長	木村洋一 50 K 本部選出
幹事	荒川富士雄 43 M 本部選出・会報編集委員
	浅田 誠 43 E 本部選出
	佐藤 満 56 A 本部選出
	江花光泰 31 L 本部選出・会報編集委員
	佐藤松夫 33 K 本部選出
	渡部昭寿 34 E 本部選出・会報編集委員
	斎藤四志男 34 K 本部選出
	安藤昭男 35 T 本部選出
	近藤信行 40 E 本部選出
	長谷川利彦 41 K 本部選出
	佐藤義之 42 M 本部選出
	菊地寿雄 48 D 本部選出
	武田芳仁 37 M 本部選出
	野中寿勝 50 E 本部選出
	長尾好章 50 T 本部選出
	田勢光夫 51 A 本部選出・会報編集委員
	五十嵐雄一 53 K 本部選出
	渡部優生 35 M 本部選出
	渡部恵千子 平6 D 本部選出
	戸野部武彦 40 M 東京会工会幹事長
	三井正春 41 A 東海会工会副会長
	本名雄一 平13 E 近畿会工会事務局長

小林 清 28 A 若松会工会常任幹事	監事
藤沼嘉典 32 T 郡山会工会幹事長	西村一夫 31 E 本部選出
梅宮 昭 39 A いわき会工会幹事長	坂内茂男 32 K 本部選出
星 秀明 40 E 福島会工会幹事長	関場一宏 33 K 本部選出
梨子本傑 41 K 坂下会工会幹事長・会報編集委員	山岸 清 41 A 若松会工会会長
長谷川与一 40 E 猪苗代会工会幹事長	荒井士郎 34 A 東京会工会副会長
小島淳一 41 E 西会津会工会幹事長	浅沼定雄 33 K 東海会工会会長
佐野常雄 31 E 湯川会工会幹事長	
荒井誠一 49 A 会津美里会工会幹事長	
白井達夫 43 E 会津電友会事務局長	
菊地登貴雄 52 M 機友会幹事長	
二瓶正人 37 K セラ友会幹事長	
儀同哲夫 41 L 会工美修会副会長	
五十嵐慧天 26 M 日立会工会会長	
番場幸雄 49 C 三菱伸銅(株)鶴友会会長	
大塚裕一郎 46 E 昭和電工(株)東長原	
田部一徳 48 C 日曹金属化学(株)会工会長	
土井淳平 07 E 東京電力(株)猪苗代会工会会長	
古川義市 48 K 三菱製鋼(株)	
岩淵浩之 54 L 事務局	
中丸 淳 55 K 事務局	
西村一夫 31 E 本部選出	
坂内茂男 32 K 本部選出	
関場一宏 33 K 本部選出	
山岸 清 41 A 若松会工会会長	
荒井士郎 34 A 東京会工会副会長	
浅沼定雄 33 K 東海会工会会長	

大竹文夫 31 C 近畿会工会会長	事務局
金田 寛 21 M 郡山会工会会長	渡部 哲 52 M
二瓶嘉人 39 E 福島会工会会長	岩淵浩之 54 L
星 武 27 E 福島会工会副会長	中丸 淳 55 K
大河原昌之 28 E いわき会工会会長	大濱達明 55 K 会報編集委員
五十嵐一夫 43 A 坂下会工会会長	加藤義勝 56 L 会報編集委員
山口一男 37 A 猪苗代会工会会長	田中 哲平 4 in
鈴木仁 21 M 西会津会工会会長	鈴木 武平 12 A
大堀順一 27 C 坂下会工会会長	
菅沼章生 29 C 湯川会工会会長	
横山嘉夫 26 M 会津美里会工会副会長	
松江春次 顕彰会会長	
栗城俊昭 45 D 会津美里会工会会長	
小山源昭 38 A 建友会会長	
棚木武夫 36 E 会工電友会副会長	
菊地良三 37 E 会工電友会会長	
渡部洋子 32 K セラ友会会長	
曾根賢治 36 L 会工美修会会長	
菊地寿雄 48 D 事務局長	



次回平成27年度総会は
10月の第3土曜日に開催しますので、
是非ご参加ください！

編集後記

会工同窓会報
2014号が発行でき
たこと、寄稿してくだ
された方々に感謝申し
上げます。今後も、母
校の現況や在校生の活
躍、同窓生の現況と近
況を皆様にお知らせで
きる会報に、努力して
まいります。

編集部より会員皆様
にお願いです。皆様か
ら頂く原稿が全てです。
今後より一層の御協力
をお願いします。

同窓会会報編集委員

同窓会会報編集委員

- 荒川富士雄 (昭43 M 卒)
- 江花 光泰 (昭31 L 卒)
- 渡部 昭寿 (昭34 E 卒)
- 梨子本 傑 (昭41 M 卒)
- 田勢 光夫 (昭51 A 卒)
- 大濱 達明 (昭55 K 卒)
- 加藤 義勝 (昭56 L 卒)
- 木村 洋一 (昭50 K 卒)